

2023.10.04 作成

2023 年 9 月新聞書評に掲載された本



レモンと殺人鬼(宝島社文庫 このミス大賞 C く-13-1)

くわがき あゆ 著

宝島社

10 年前、父親が通り魔に殺されて母親も失踪、それぞれ別の親戚に引き取られた小林姉妹。遺体で発見された妹の妃奈が、保険金殺人を行っていたという疑惑をかけられる。妹の潔白を信じる姉の美桜は、疑いを晴らすべく…。

2023.4./ 312p

978-4-299-04167-8

¥779〔税込〕



9 784299 041678

産経新聞 2023/09/02



星野知子の鎌倉四季だより

星野 知子 著

敬文舎

空と海の青い夏、風を感じる秋、まぶしい冬、人びととの触れ合い、新しい日常…。鎌倉に住んで 14 年の星野知子が、日々の暮らしを優しく穏やかな眼差しで感性豊かに描く。

2023.8./ 207p

978-4-911104-60-6

¥1,980〔税込〕



9 784911 1104606

産経新聞 2023/09/02



ジュンドロップ

夢野 寧子 著

講談社

母の不妊治療の失敗、凶暴な白い光と共に襲ってくる片頭痛。しずくとタマキは、持て余した心を抱えて縛られ地蔵に会いに行く。傷つき、傷つけ、思いあう。痛切な家族の愛のかたちを描く。『群像』掲載を単行本化。

2023.7./ 150p

978-4-06-532679-4

¥1,650〔税込〕



9 784065 326794

産経新聞 2023/09/03



絶滅する「墓」～日本の知られざる弔い～(NHK 出版新書 704)

鵜飼 秀徳 著

N H K 出版

日本では、じつに多様な葬送文化が育まれてきた。土葬、肉体と魂を分けて埋葬する両墓制、風葬、男女別葬…。全国各地を取材した著者が、弔いの形を通して、日本人がいかにして死と向き合ってきたかを問いなおす。

2023.8./ 279p

978-4-14-088704-2

¥1,210〔税込〕



9 784140 887042

産経新聞 2023/09/03

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2023 年 9 月時点での税込み価格です。



##NAME##

児玉 雨子 著

河出書房新社

私の過去は“現代の間”なのか？ でもそれは、あまりにまぶしい間だった-。かつてジュニアアイドルだった雪那。少年漫画の夢小説にのめり込み…。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/09/03

2023:7./ 161p

978-4-309-03127-9

¥1,760〔税込〕



きみのそばにいるよ

いぬいさえこ 著

パイインターナショナル

森の中。小さくてふわふわのどうぶつたちが、お月様の下でおしゃべりをして…。心にそっと寄り添う、温かいメッセージがつまった絵本。新月から三日月、満月になり欠けていくまで、約 30 日の月の満ち欠けの移ろいも楽しめる。

産経新聞 2023/09/03

2023:8./ 63p

978-4-7562-5756-7

¥1,540〔税込〕



お帰りやす、天皇陛下。～京都と皇室・1000年の因縁を紐解く～

井上章一／工藤美代子 著

ビジネス社

皇室の「京都へのお戻り」は可能か。日本の文化はどこまで守るべきか。京都の「いけず口」の正体とは。「英明なる明治天皇」は天皇のあるべき姿か…。古都の文化・歴史を語り合い、“日本の中心”の謎を、解き明かす。

産経新聞 2023/09/03

2023:7./ 253p

978-4-8284-2542-9

¥1,760〔税込〕



星野画廊 50年史～明治・大正・昭和発掘された画家と作品～

星野桂三／星野万美子 著

青幻舎

著名作家による名作主義の近代美術史に疑問を持ち、自分たちの眼にかなう力作を紹介し続けてきた京都・星野画廊。創業以来企画開催した 161 の展覧会の展示風景などを、図版と共に、異色画廊と京都近代美術史の足跡をたどる。

産経新聞 2023/09/03

2023:6./ 247p

978-4-86152-918-4

¥3,960〔税込〕



桃を煮るひと

くどうれいん 著

ミシマ社

家事なんかしてる暇ないくらい忙しい自分と、いきいきと夕飯を作る自分をどうしても両方やりたい-。くどうれいんの食エッセイ集。『日本経済新聞』夕刊連載に書き下ろしを加える。

産経新聞 2023/09/03

2023:6./ 132p

978-4-909394-88-0

¥1,760〔税込〕





レビュー大全 2012-2022～作家・比較文学者 K が四〇〇〇日にわたって記した壮大なる記録～

小谷野敦 著

読書人

2012年3月～2022年12月に、Amazon カスタマーレビューに投稿した文章を収録。書籍、雑誌、映画、ドラマ、その他の映像・音声作品など約3000点を、5段階評価付きで掲載したブック・DVDガイド。

産経新聞 2023/09/03

2023:5./ 569p,66p
978-4-924671-59-1

¥3,960〔税込〕



数学者たちの黒板

ジェシカ・ワイン 著

草思社

なぜ数学者には黒板が必要なのか。フィールズ賞受賞者を含む数学者109人の板書の写真と、その黒板にまつわるエッセイを収録する。数学者たちの黒板への情熱に溢れた本。

産経新聞 2023/09/03、朝日新聞 2023/09/23

2023:7./ 239p
978-4-7942-2657-0

¥3,850〔税込〕



聖トマス・アクィナス(ちくま学芸文庫 チ7-1)

G. K. チェスタトン／生地 竹郎 著

筑摩書房

トマス・アクィナスは何を成し遂げたのか。聖人の歩みをたどりながら、哲学は神学に、神学は聖性に依存することを、巧みな機知とともに描いたトマス入門の古典。

産経新聞 2023/09/09

2023:8./ 268p
978-4-480-51202-4

¥1,210〔税込〕



陽だまり～安西水丸が遺した最後の抒情漫画集～

安西 水丸 著

講談社

個性的な才人・安西水丸が最後に遺した、ちょっとエロくて胸に染み入る抒情漫画集。表題作はじめ「アメンボ」「冬の客」など全4編ほか、村上春樹らによるエッセイも収録する。『小説現代』掲載などに書き下ろしを加える。

産経新聞 2023/09/10

2023:8./ 121p
978-4-06-530469-3

¥1,980〔税込〕



ヘルメス

山田宗樹 著

中央公論新社

2029年に起きた小惑星衝突の危機。すんでのところで衝突はまぬがれたが人々の恐怖は拭いきれず、シェルター用の実験地底都市が建造された。実験期間は10年、被験者たちには終了時に巨額の報酬が約束されているのだが....。

産経新聞 2023/09/10

2023:8./ 388p
978-4-12-005687-1

¥2,090〔税込〕





クライメートテック～新しい巨大経済圏のメカニズム～

宮脇良二 著

日経 B P 社

気候変動に立ち向かうための技術的ソリューションを提供するスタートアップ企業群である「クライメートテック」とは何か。その背景と力学の本質から最新のトレンドまで、豊富な事例と共に解説する。

産経新聞 2023/09/10

2023:8./ 256p
978-4-296-12206-6

¥2,640〔税込〕



頭じゃロシアはわからない～諺で知るロシア～

小林和男 著

大修館書店

半世紀にわたってロシアを見つめてきた著者が、大統領から市井の人々まで幅広いエピソードを、生活に根ざした 102 本の諺に絡めて語る珠玉のエッセイ集。諺にはロシア語の原文と日本語読みを付す。

産経新聞 2023/09/10

2023:7./ 10p,239p
978-4-469-21393-5

¥2,420〔税込〕



近代日本暗殺史(PHP 新書 1359)

筒井 清忠 著

P H P 研究所

暗殺犯たちの隠れた動機とは？岩倉具視暗殺未遂事件、大久保利通暗殺事件、大隈重信爆弾遭難事件など、明治と大正の暗殺事件を丁寧に語り、さらに暗殺に同情的な日本の文化ができた歴史的背景について考察する。

産経新聞 2023/09/10

2023:7./ 198p
978-4-569-85509-7

¥1,100〔税込〕



DISCOVER DOBOKU～土木が好きになる 22 の物語～

吉川 弘道 著

平凡社

上空から俯瞰する羽田空港 D 滑走路、巨大ダムのカリスマ・黒部ダム…。先達の叡智と、熱きエンジニア魂を秘める土木構造物。語り継ぐべき歴史とミッションを持つ日本の社会インフラを、選りすぐりの写真とともに紹介する。

産経新聞 2023/09/10

2023:7./ 175p
978-4-582-54476-3

¥2,860〔税込〕



江戸に向かう公家たち～みやこと幕府の仲介者～(歴史文化ライブラリー 576)

田中 暁龍 著

吉川弘文館

様々な事情で江戸に下り、武家や町人と多様な交流をもった江戸時代の公家。朝廷の意志を伝える者や、幕府の儀式を荘厳する「役者」、家元として技芸を指導する人々など、多彩な生き様を取り上げ、社会の諸相に迫る。

産経新聞 2023/09/10

2023:9./ 6p,253p
978-4-642-05976-3

¥1,980〔税込〕





日本語人生百景～エッセイの名言～

中村明 著

青土社

森鷗外、寺田寅彦、宮本百合子、湯川秀樹、井上ひさし…。情緒豊かで、粋で軽快、ユーモアにあふれた自由な表現の数々。随筆に宿る「これぞ人生」と思わず唸る作家の名表現を、日本語学の第一人者が案内する、極上の随筆名鑑。

産経新聞 2023/09/10

2023:6./ 323p
978-4-7917-7557-6

¥2,640〔税込〕



教養としてのドラッカー～「知の巨人」の思索の軌跡～

小島 明 著

東洋経済新報社

いまドラッカーから何を学ぶか。日本経済新聞の記者として長年親交を重ねた著者が、主要著作を読み解きながら「知の巨人」の思想やエッセンスを解説する。インタビュー記事も収録。

産経新聞 2023/09/16

2023:5./ 285p
978-4-492-52236-3

¥1,980〔税込〕



世界一長い鉄道トンネル～スイス・アルプス山脈をほりすすむ～(環境ノンフィクション)

笹沢教一 著

学研

アルプス山脈を通る、世界一長い鉄道トンネル「ゴッタルド・ベース・トンネル」。世紀のプロジェクトと呼ばれる建設の裏にあった“持続可能な輸送”への長い道のりを描く。

産経新聞 2023/09/17

2023:7./ 143p
978-4-05-205709-0

¥1,650〔税込〕



ソース焼きそばの謎(ハヤカワ新書 006)

塩崎 省吾 著

早川書房

戦後の大阪発祥という通説は真実なのか。なぜ、醤油ではなくソースで炒めたのか。焼きうどんとの関係は。明治時代や大正時代の史料を繙き、聞き取りを重ねて浮かび上がった意外な来歴を紹介する。カラー写真も収録。

産経新聞 2023/09/17

2023:7./ 302p
978-4-15-340006-1

¥1,100〔税込〕



日暮れのと

小池 真理子 著

文藝春秋

日々老いを感じつつ暮らす雪代。ある日やってきた植木屋の青年に興味を惹かれるが、彼の恋人は初老の現役風俗嬢だといい…。表題作など、生と死、そして性を描く全7編の短編集。『オール讀物』『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/09/17

2023:6./ 253p
978-4-16-391704-7

¥1,815〔税込〕





帝国ホテルと日本の近代～「ライト館」はいかにして生まれたか～

永宮 和 著

原書房

日本の近代西洋化と軌を一にする帝国ホテルの誕生と歩み、そしてフランク・ロイド・ライトとの関わりを、新たな情報とさまざまなエピソードとともに振り返り、近代日本の世相をも浮かびあがらせる。

産経新聞 2023/09/17

2023:7./ 266p
978-4-562-07294-1

¥2,420〔税込〕



デオナール アジア最大最古のごみ山～くず拾いたちの愛と哀しみの物語～

ソーミヤ ロイ 著

柏書房

不法投棄、火災、依存症、ギャングの抗争、当局の排除政策…。ムンバイの市街地の端にあるデオナールごみ集積場で、廃棄物とともに生まれ育った少女らの目を通して、愛と哀しみ、この世界が生み出すゆがみを描く。

産経新聞 2023/09/17

2023:8./ 372p,10p
978-4-7601-5530-9

¥2,860〔税込〕



荻窪メリーゴーランド

木下 龍也／鈴木 晴香 著

太田出版

待ち合わせには早すぎる改札で後ろから君が抱きしめてくる 会ってすぐ次に会う 約束をしてそれでも足りないような気がした 虚構のラブストーリー短歌。Web マガジン『OHTABOOKSTAND』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2023/09/17

2023:8./ 204p
978-4-7783-1886-4

¥2,200〔税込〕



住吉公園と住吉さん～住吉大社から生まれて 150 年～

水内 俊雄／小出 英詞／寺田 孝重／繁村 誠人／荒木 美喜男／櫻田 和也 著

東方出版

明治政府の通達により設置された、日本最初の公園の一つである住吉公園。歴史・地理、神社や地域との関係、植生などを綿密に探求し、その成り立ちと変遷に迫る。図版 300 余点を収録。『住吉公園歴史探訪』掲載に加筆。

産経新聞 2023/09/17

2023:9./ 213p
978-4-86249-445-0

¥4,180〔税込〕



サブカルチャーのころ～オタクなカウンセラーがまじめに語ってみた～

笹倉 尚子／荒井 久美子 著

木立の文庫

漫画、アニメ、ゲーム、アイドル、ファッション…。現代日本のサブカルチャーについて、そこに潜むころ、あるいは表現されたころを現役のカウンセラー12人が読み解いた書。268 項目を 5 つの視点から光をあてる。

産経新聞 2023/09/17

2023:5./ 3p,368p
978-4-909862-29-7

¥2,420〔税込〕





ある限界集落の記録～昭和二十年代の奥山に生きて～

小谷裕幸 著

富山房インターナショナル

奥山の水事情、家の造り、四季のいとなみと行事、日常の楽しみと苦勞…。岡山県新見市の指野集落を舞台に、戦中・戦後、家族が辿った人生と、高度経済成長期以前の生活を、ドイツ文学者が鎮魂の書として綴った貴重な記録。

産経新聞 2023/09/17、毎日新聞 2023/09/23

2023:8./ 228p
978-4-86600-116-6

¥2,200〔税込〕



パリの音楽サロン～ベルエポックから狂乱の時代まで～(岩波新書 新赤版 1982)

青柳 いづみこ 著

岩波書店

コンクールがなかった 19 世紀から 20 世紀初頭、音楽サロンの女主人は芸術家たちを支援し、彼らはサロンから世に出ていった。時代の中の音楽サロン、様々な芸術家たちの交流を生き生きと描く。『図書』など掲載を新書化。

産経新聞 2023/09/23

2023:7./ 14p,207p,8p
978-4-00-431982-5

¥1,034〔税込〕



仁義なきヤクザ映画史～1910-2023～

伊藤 彰彦 著

文藝春秋

日本映画は「アウトロー」を如何に描いてきたのか？ 関係者へのインタビューを通してヤクザ映画 100 年余の修羅に踏み込み、「暴力の近現代史」を描き出す。『文藝春秋』連載に大幅加筆、書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2023/09/23

2023:8./ 309p
978-4-16-391735-1

¥2,365〔税込〕



今日は自習にします

工藤 あゆみ 著

青幻舎

しあわせの計算、人生の作文、月のように満ち欠けする体と心…。日々を大切に歩むための 45 の教科と時間を、短い文章とユーモラスな絵で紡ぐ。書き込み欄あり。本体は背表紙なし糸綴じ。

産経新聞 2023/09/23

2023:6./ 72p
978-4-86152-920-7

¥1,980〔税込〕



ウクライナ・ダイアリー～不屈の民の記録～

古川 英治 著

KADOKAWA

新聞社を退社し、ウクライナ人の妻とキーウに移り住んだ著者は、ほどなくロシアによる侵攻に直面する。戦禍に暮らし、記者として当事者として見た、自由のために戦う民の記録。

産経新聞 2023/09/24

2023:8./ 299p
978-4-04-113135-0

¥1,760〔税込〕





創造論者 vs.無神論者～宗教と科学の百年戦争～(講談社選書メチエ 790)

岡本 亮輔 著

講談社

宗教と科学の長い戦争、なかでも創造論者と無神論者の戦いは、21世紀に入ってもますます過熱している。おもに欧米で激しく展開する両者の戦いに密着し、信念をぶつけ合う人間たちのドラマを描き出す。

産経新聞 2023/09/24

2023.9./ 267p
978-4-06-533247-4

¥1,980〔税込〕



狭間の者たちへ

中西 智佐乃 著

新潮社

保険営業所に勤める藤原は、通勤電車で見かける少女に「元気」をもらっていたが-。痴漢加害者の心理を容赦なく晒す表題作と、新潮新人賞を受賞したデビュー作「尾を喰う蛇」を収録する。『新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/09/24

2023.6./ 247p
978-4-10-355111-9

¥1,980〔税込〕



ボナールとマティス手紙の二人

ピエール ボナール／アンリ マティス 著

求龍堂

フランス絵画の巨匠、ボナールとマティスの往復書簡集。62通の往復書簡、肉筆の写し、美しいポートレートのほか、ボナール没後の評伝記事にマティスが抗議の殴り書きをした切り抜きも掲載。

産経新聞 2023/09/24

2023.7./ 156p
978-4-7630-2317-9

¥4,180〔税込〕



庭のかたちが生まれるとき～庭園の詩学と庭師の知恵～

山内朋樹 著

フィルムアート社

京都北部の寺を訪ね、その作庭現場のフィールドワークから、庭の造形を考え、庭師の生態を観察し、庭のなりたちを記述した、新感覚の庭園論。フィルムアート社ウェブサイト『かみのたね』連載を改稿、書下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2023/09/24

2023.8./ 381p
978-4-8459-2300-7

¥2,860〔税込〕



意味変語彙力帳

総合法令出版

「触り」の部分」「議論が“煮詰まる”」「穿った見方」など、世代によって意味の理解が違う言葉を日常語の中から厳選。「本来の意味」と「変化した意味」との違いを、マンガや用例を使ってわかりやすく解説する。

産経新聞 2023/09/24

2023.9./ 230p
978-4-86280-918-6

¥1,540〔税込〕





しかばねの物語～チベットのむかしばなし～

星 泉 編

のら書店

しかばねと旅する主人公に課せられたのは、しかばねが語るお話がどんなにおもしろくても、口をきいてはいけないということ…。チベットの人々に長く愛されてきたむかしばなしを、親しみやすい日本語に翻訳。

産経新聞 2023/09/24

2023:9./ 207p
978-4-905015-73-4

¥1,760〔税込〕



中流危機(講談社現代新書 2716)

N H K スペシャル取材班 著

講談社

日本の中間層はなぜ貧しくなったのか。負のスパイラルから抜け出すために、国や企業、個人は何ができるのか。日本人と日本経済を蝕む「中流危機」の病巣に迫り、再生への処方箋を探る。NHK の番組を基に書籍化。

産経新聞 2023/09/30

2023:8./ 236p
978-4-06-533253-5

¥1,012〔税込〕



山の上のパン屋に人が集まるわけ(サイボウズ式ブックス)

平田 はる香 著

ライツ社

都会でうまく生きられずに、長野の地へ。1 人の主婦が移動販売から始めた店は、なぜこんなにも支持されるのか? パンと日用品の店「わざわざ」代表が、うまく生きることよりも、健やかでいられる方法を語る。

産経新聞 2023/09/30

2023:4./ 243p
978-4-909044-44-0

¥1,760〔税込〕



旅愁<上>(岩波文庫 緑 75-4)

横光 利一 著

岩波書店

日本と西洋－対照的な文化・文明から紡がれる矢代と久慈の相克と懊悩。GHQ によって書き換えを余議なくされた問題作を、検閲前のテキストに拠り、作家の真意に迫る。

朝日新聞 2023/09/02

2016:8./ 580p
978-4-00-310754-6

¥1,276〔税込〕



旅愁<下>(岩波文庫 緑 75-5)

横光 利一 著

岩波書店

欧洲で愛を育んだ矢代と千鶴子。帰国した二人の結婚には、古神道とカソリックというそれぞれの信仰が障壁として立ちをはかる。さらに家柄の違い、戦況の悪化も重なり…。第二次世界大戦の前後、言論統制下で書いた未完の長篇。

朝日新聞 2023/09/02

2016:9./ 664p
978-4-00-310755-3

¥1,386〔税込〕





化け者心中(角川文庫 時-せ 12-1)

蟬谷 めぐ実 著

KADOKAWA

ときは文政、ところは江戸。中村座の役者たちのうちのひとりが鬼に喰われて成り代わられた。一体誰が鬼なのか。かつて一世を風靡した元女形の魚之助と鳥屋を商う藤九郎は、座元に請われて鬼探しに乗り出し…。

朝日新聞 2023/09/02

2023:8./ 345p
978-4-04-113882-3

¥880〔税込〕



春あかね高校定時制夜間部(角川コミックス・エース)

heisoku 著

KADOKAWA

ごくフツウの高校生はなお、ヘンT集めが趣味なゆめ、元ホストのちたる、40歳のよしえ…春あかね高校定時制夜間部に通う生徒たちが巻き起こす、サイケでファジーな日常がクセになる!?

朝日新聞 2023/09/02

2023:8./ 175p
978-4-04-113908-0

¥748〔税込〕



獅子渡り鼻(講談社文庫 お 121-1)

小野 正嗣 著

講談社

心身不自由な兄と、男にだらしく家に寄り付かない母と暮らしていた10歳の尊は、母の親戚に連れられ、母が大嫌いだった田舎へとやってきた。入り江と山に囲まれた土地を舞台に、少年の再生を描く。

朝日新聞 2023/09/02

2015:7./ 177p
978-4-06-293153-3

¥616〔税込〕



はじめての人類学(講談社現代新書 2718)

奥野 克巳 著

講談社

「人間の生」とは何なのか。マリノフスキ、レヴィ=ストロース、ポアズ、インゴルドという人類学史上重要な4人の学者の足跡から、「生」を問い続けた100年の知的格闘を一望し、人類学の真髄を解き明かす。

朝日新聞 2023/09/02

2023:8./ 230p
978-4-06-532857-6

¥990〔税込〕



裸の大地<第2部> 犬橈事始

角幡 唯介 著

集英社

北極での犬のチーム編成とカオスな訓練、犬橈技術の獲得…。コロナ禍の中でも著者は裸の大地を自由自在に旅し、百年前のエスキモーの魂に近づいていく。悪戦苦闘の新冒険。折り込み地図付き。『すばる』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/09/02

2023:7./ 357p
978-4-08-781731-7

¥2,530〔税込〕





この気持ちもいつか忘れる(新潮文庫 す-29-2)

住野 よる 著

新潮社

平凡な日々には飽き飽きとして生きる男子高校生のカヤ。16歳の誕生日を迎えた直後、深夜のバス停で爪と目しか見えない異世界の少女に出会う。2人は互いの世界の不思議なシンクロに気づき...

朝日新聞 2023/09/02

2023:7./ 532p
978-4-10-102352-6

¥990〔税込〕



藤十郎の恋・恩讐の彼方に 改版(新潮文庫)

菊池 寛 著

新潮社

朝日新聞 2023/09/02

1999:5./ 318p
978-4-10-102801-9

¥649〔税込〕



神獣夢望伝

武石 勝義 著

新潮社

くり返し現れる夢の風景を求めて旅立つ少年、奪われた恋人を追って故郷を出奔する男、一度は愛した男に裏切られた女...。不条理な運命に抗う先に、救いはあるのか。新たな地平を開く中華幻想奇譚。

朝日新聞 2023/09/02

2023:6./ 308p
978-4-10-355081-5

¥1,870〔税込〕



52 ヘルツのクジラたち(中公文庫 ま 55-1)

町田 そのこ 著

中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる-

朝日新聞 2023/09/02

2023:5./ 314p
978-4-12-207370-8

¥814〔税込〕



息吹(ハヤカワ文庫 SF 2415)

テッド・チャン 著

早川書房

人間がひとりも出てこない世界の秘密を探究する科学者の、驚異の物語を描く表題作ほか、「予期される未来」「大いなる沈黙」など、科学・思想・文学の最新の知見を取り入れた全9篇を収めた作品集。作品ノートも収録。

朝日新聞 2023/09/02

2023:8./ 606p
978-4-15-012415-1

¥1,210〔税込〕





運び屋円十郎

三本 雅彦 著

文藝春秋

約束の物は何かあっても届け切る、やり手の<運び屋>円十郎。江戸の街を駆け回る彼は、ある夜襲撃を受けるが、それは大きな災厄の始まりに過ぎなかった…。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2023/09/02

2023:6./ 291p
978-4-16-391705-4

¥1,980〔税込〕



万幸オーライ～別府温泉を日本一にした男～

植松 三十里 著

P H P 研究所

“別府観光の父”と呼ばれた男、油屋熊八。地元の反対、資金不足など、様々な困難に遭うも、仲間や妻とともに別府を日本一の温泉地へと導き…。油屋熊八の奮闘と生涯を描く。『大分合同新聞』等掲載を加筆・修正。

朝日新聞 2023/09/02

2021:8./ 380p
978-4-569-84984-3

¥2,090〔税込〕



ナショナリズムとナショナル・インディファレンス～近現代ヨーロッパにおける無関心・抵抗・受容～

マルテン・ヴァン＝ヒンダーアハター／ジョン・フォックス 編

ミネルヴァ書房

幅広い射程を持つ「ナショナル・インディファレンス(国民への無関心)」現象の歴史的な意義を追究。近現代ヨーロッパ各地の事例を取り上げ、様々なアプローチのもと、ナショナリズム理解に画期的な切り口を与える。

朝日新聞 2023/09/02

2023:6./ 10p,413p
978-4-623-09435-6

¥8,250〔税込〕



熟睡者

クリスティアン・ベネディクト／ミンナ・トゥーンベリエル 著

サンマーク出版

科学者がそろって「絶対寝るべき」と言う理由、睡眠の「すごい効果」、「最良の薬」であるいい睡眠…。世界の睡眠研究を知り尽くしたスペシャリスト2人が、睡眠が健康や幸福に与える影響の最新の知見をわかりやすく解説する。

朝日新聞 2023/09/02

2023:7./ 281p,5p
978-4-7631-4071-5

¥1,760〔税込〕



生きものがつくる美しい家～動物たちのすごい巣 121～

鈴木 まもる 著

エクスナレッジ

ワニがつくる巣、イノシシがつくる巣、巣を持ち歩くタコ…。家として住み続けるか、巣として一時的に利用するかを問わず、様々な生き物たちがつくる構造物とつくり方をイラストで紹介。前著に世界初公開の巣など8種を追加。

朝日新聞 2023/09/02

2023:7./ 179p
978-4-7678-3142-8

¥1,980〔税込〕





少女マンガはどこからきたの?～「少女マンガを語る会」全記録～

ヤマダトモコ／増田のぞみ／小西優里／想田四 編

水野英子／上田トシコ／むれあきこ／わたなべまさこ／巴里夫／高橋真琴／今村洋子／ちばてつや／牧美也子／望月あきら／花村えい子／北島洋子 著

青土社

「リボンの騎士」から「ベルサイユのばら」まで、少女マンガはいかに開拓されてきたのか。少女マンガ界の先駆者たち、雑誌の編集者、貸本マンガの関係者らが、50～60年代の少女マンガを語り尽くす。図版も多数収録。

朝日新聞 2023/09/02

2023:6./ 335p,14p 図版

12p

978-4-7917-7553-8

¥2,860〔税込〕



9 784791 775538



「人新世」の惑星政治学～ヒトだけを見れば済む時代の終焉～

前田幸男 著

青土社

太陽も地球も海藻も土も出てこない社会科学に何が欠けているのかを、真剣に思考してきた著者が、人間中心の発想を徹底的に見直し、人間とノン・ヒューマンとの関係をどこまでもフラットなものとして捉え直した新しい政治学。

朝日新聞 2023/09/02

2023:6./ 347p,5p

978-4-7917-7561-3

¥2,860〔税込〕



9 784791 775613



百年の轍

織江耕太郎 著

書肆侃侃房

高度成長期、矢島と岩城の育った日田の林業は最大の危機を迎える。そんな中、幼馴染で木材輸入自由化法案をめぐる暗躍していた鬼塚が失踪。時代は移り、彼らの子孫たちは期せずして日田に集まり…。書下ろし社会派ミステリー。

朝日新聞 2023/09/02

2020:10./ 277p

978-4-86385-424-6

¥1,650〔税込〕



9 784863 854246



カブトムシの謎をとく(ちくまプリマー新書 434)

小島 渉 著

筑摩書房

知名度の高さにもかかわらず、わかっていないことが多いカブトムシ。子どものころから昆虫好きだった著者が、カブトムシの研究を始めたいきさつや、幼虫のくらし、活動時間をめぐる謎などについて解説する。

朝日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/02

2023:8./ 221p

978-4-480-68457-8

¥968〔税込〕



9 784480 684578



スヌーピーがいたアメリカ～『ピーナッツ』で読みとく現代史～

今井亮一 編

ブレイク・スコット・ポール 著

慶應義塾大学出版会

スヌーピーで知られる漫画「ピーナッツ」は、冷戦期のアメリカ社会とどう向き合ったのか。そこに作者チャールズ・M・シュルツが込めたメッセージとは。コミック、ファンレター、未公開資料等から戦後アメリカのすがたを探る。

朝日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/02

2023:7./ 8p,364p

978-4-7664-2899-5

¥3,960〔税込〕



9 784766 428995



なぜ、おかしの名前はパピプペポが多いのか?～言語学者、小学生の質問に本気で答える～

川原 繁人 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

原始人はどうやってしゃべっていたの? 身近な疑問から、ことばの旅にでかけよう! 小学生を対象におこなった実際の授業にもとづき、言語学者である著者と小学生の対話を再現。レベルアップ解説も収録する。

朝日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 287p
978-4-7993-2975-7

¥1,870〔税込〕



真の人間になる<上>(エクス・リブリス)

甘耀明 著

白水社

台湾原住民族のブヌン族の少年・ハルムトとハイヌナンは野球が好きで、1941年春、花蓮港中学に進学した。甲子園を目標に練習に耐え、地区予選を勝ち抜き春の甲子園選抜大会への出場権を手にするが、真珠湾攻撃が起こり…。

朝日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 265p
978-4-560-09086-2

¥2,640〔税込〕



真の人間になる<下>(エクス・リブリス)

甘耀明 著

白水社

1945年9月、捕虜を乗せた米軍の輸送機が台湾上空を飛行中、台風に襲われ、台東県に位置する三叉山の付近に墜落した。山に詳しいハルムトは捜索を頼まれるが…。「三叉山事件」をモチーフに、ブヌン族の少年の成長を描く。

朝日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 256p
978-4-560-09087-9

¥2,640〔税込〕



同調圧力～デモクラシーの社会心理学～

キャス・サンスティーン 著

白水社

同調はどのようにして生じるのか? カスケード、集団極性化について論じるとともに、同調が司法制度や社会政策に及ぼす影響を考察し、それに対する処方箋を示す。

朝日新聞 2023/09/02、毎日新聞 2023/09/16、日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 183p,22p
978-4-560-09365-8

¥2,420〔税込〕



自衛隊の闇組織～秘密情報部隊「別班」の正体～(講談社現代新書 2496)

石井 暁 著

講談社

日本が保持する「戦力」の最大タブーとは? 身分を偽装した自衛官が国内外でスパイ活動を行う「別班」に迫ったレポート。5年半にも及ぶ長期の取材から、帝国陸軍より引き継がれた自衛隊の“陰”の部分明らかにする。

朝日新聞 2023/09/09

2018:10./ 196p
978-4-06-513588-4

¥880〔税込〕





スイッチ〜悪意の実験〜

潮谷 駿 著

講談社

「純粋な悪」の存在を証明する実験のアルバイトに参加した学生達のスマホには、幸せな家族を破滅させるスイッチがインストールされる。押しても押さなくても1カ月後には高額な報酬が手に入り、押すメリットはないはずが...

朝日新聞 2023/09/09

2021:4./ 365p
978-4-06-522853-1

¥1,980〔税込〕



ぼくはあと何回、満月を見るだろう

坂本 龍一 著

新潮社

自らに残された時間を悟り、教授は語り始めた。創作や社会運動を支える哲学、国境を越えた多彩な活動、坂本家の歴史と家族に対する想い、ガンと共に生きること。最晩年までの足跡を未来に遺す自伝。『新潮』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/09/09

2023:6./ 285p
978-4-10-410603-5

¥2,090〔税込〕



ユー。〜ジャニーズの性加害を告発して〜

カウアン・オカモト 著

文藝春秋

もう、自分に嘘はつかない。ジャニー喜多川の性加害を顔出しで告発して大きな注目を浴びた元ジャニーズ Jr.が、その半生と今の思いを赤裸々に語る。

朝日新聞 2023/09/09

2023:8./ 206p
978-4-16-391737-5

¥1,650〔税込〕



軍人が政治家になってはいけない本当の理由〜政軍関係を考える〜(文春新書 1144)

廣中 雅之 著

文藝春秋

田母神空幕長解任事案はなぜ起きたのか。マッカーサー元帥はなぜ米軍人から嫌われたのか。国内外の豊富な事例から、民主主義国家における政治と軍事の関係はどうあるべきかを探る。

朝日新聞 2023/09/09

2017:10./ 223p
978-4-16-661144-7

¥946〔税込〕



インビジブル(文春文庫 さ 75-2)

坂上 泉 著

文藝春秋

成り上がり政治家の関係者が次々と殺された。背景は汚職か怨恨か。刑事の矜持を胸に、中卒と帝大卒のバディが戦後大阪の闇に挑む! 実在した「大阪市警視庁」を舞台に描く、戦後史×警察サスペンス。

朝日新聞 2023/09/09

2023:7./ 381p
978-4-16-792065-4

¥957〔税込〕





ふりさけ見れば<<上>巻>

安部龍太郎 著

日経 B P 社

科学に合格、外国人で異例の出世を遂げる阿倍仲麻呂は帰国の時を迎えていた。ともに 16 年前に海を渡った吉備真備は留学の成果を持ち帰り、仲麻呂たちと日本「国」の礎を築こうとするが…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/09/09

2023:7./ 456p
978-4-296-11748-2

¥2,200〔税込〕



ふりさけ見れば<<下>巻>

安部龍太郎 著

日経 B P 社

玄宗皇帝と楊貴妃に近侍する高級官僚・仲麻呂は、日本の朝廷の密命を帯びていた。唐を揺るがす動乱が、彼の運命を翻弄し…。ユーラシアから日本を見る壮大なスケールで日中関係の淵源に迫る。『日本経済新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/09/09

2023:7./ 455p
978-4-296-11749-9

¥2,200〔税込〕



大江戸墨亭さくら寄席(祥伝社文庫 よ 7-1)

吉森大祐 著

祥伝社

両国橋の袂で、幼なじみの代助が話芸で聴衆を沸かせていた。噺家小太郎は啞然とするが、代助の妹が重い病で 20 両必要だと知り、診療代を稼ごうとするも四苦八苦。小太郎は師匠で江戸随一の噺家仙遊亭さん馬を担ぎ出そうと…。

朝日新聞 2023/09/09

2023:7./ 355p
978-4-396-34897-7

¥880〔税込〕



幽霊長屋、お貸します<1>(PHP 文芸文庫 い 14-1)

泉 ゆたか 著

P H P 研究所

江戸で起こる刺激的な事件を集めて記事を書く、読売の“種拾い”の少女・お奈津は、“事故物件”専門の家守(不動産屋)・直吉の話を聞き、借主たちを調べる。各家の幽霊騒動に巻き込まれるうちに、霊の切ない秘密を知り…。

朝日新聞 2023/09/09

2023:7./ 278p
978-4-569-90319-4

¥880〔税込〕



冷戦後日本のシベリアン・コントロールの研究

武蔵 勝宏 著

成文堂

日本の立法過程におけるシベリアン・コントロールが、冷戦終焉後に抑制的統制から能動的統制にどのように変化したのかを分析し、そこで生じた問題点と、それを是正するための方途を提起する。

朝日新聞 2023/09/09

2009:2./ 366p
978-4-7923-3258-7

¥6,600〔税込〕





ロバのスーコと旅をする

高田 晃太郎 著

河出書房新社

イランで2頭のオスロバと、トルコで“ソロツベ”と、モロッコで“スーコ”と…。ロバとの旅路を「太郎丸」名義でSNSに投稿し、話題を集めた著者が、彼らと歩いた日々、出会い、別れ、葛藤を綴る。

朝日新聞 2023/09/09、東京・中日新聞 2023/09/10

2023:7./ 202p 図版 12 枚

978-4-309-03120-0

¥1,782〔税込〕



9 7 8 4 3 0 9 0 3 1 2 0 0



発酵食品と戦争(文春新書 1421)

小泉 武夫 著

文藝春秋

「発酵」と「戦争」は関わりが無いように思えるが、太平洋戦争末期からの食糧欠乏期、国民全体が発酵食品に救われた。食糧のみならず爆薬・燃料・薬品をもつくる「発酵」の驚異のパワーを、古今東西の豊富な事例で紹介する。

朝日新聞 2023/09/09、読売新聞 2023/09/10

2023:8./ 249p

978-4-16-661421-9

¥1,155〔税込〕



9 7 8 4 1 6 6 6 1 4 2 1 9



対決の東国史<1> 源頼朝と木曾義仲

長村 祥知 著

吉川弘文館

鎌倉に残った源頼朝と上洛した木曾義仲。ともに反平家の兵を挙げた両雄は異なる路線を進み、対決に至る。彼らは何を重視していたのか。京都との関係を視野に入れ、彼らを取りまく諸勢力の動向を、その父親世代から描き出す。

朝日新聞 2023/09/09、読売新聞 2023/09/24

2023:8./ 6p,177p

978-4-642-06867-3

¥2,200〔税込〕



9 7 8 4 6 4 2 0 6 8 6 7 3



病が分断するアメリカ〜公衆衛生と「自由」のジレンマ〜(ちくま新書 1744)

平体 由美 著

筑摩書房

コロナ禍のアメリカは、迅速な疫学調査とワクチン開発がなされたにもかかわらず、世界で最悪の死者が出た。20世紀初頭以来の公衆衛生史を繙きつつ、社会・地域・人種などの格差により分断されているアメリカの問題を探る。

朝日新聞 2023/09/09、日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 222p

978-4-480-07571-0

¥968〔税込〕



9 7 8 4 4 8 0 0 7 5 7 1 0



ダンピア最新世界周航記<上>(岩波文庫 青 486-1)

岩波書店

イギリス海賊ウィリアム・ダンピアの12年半に及ぶ航海の記録。カリブ海、南米、フィリピン、中国など世界の海を渡り歩き、敵船拿捕、都市襲撃といった私掠活動を重ねる。つねに危険と背中合わせの航海の様子と、寄港した土地の自然や風俗を、厳密な観察眼でつぶさに記す。

朝日新聞 2023/09/16

2007:5./ 462p

978-4-00-334861-1

¥1,243〔税込〕



9 7 8 4 0 0 3 3 4 8 6 1 1



ダンピア最新世界周航記<下>(岩波文庫 青 486-2)

ウィリアム・ダンピア 著

岩波書店

グアム諸島からフィリピン、中国へ、故国イギリスを遠く離れ、一攫千金を夢見て船は進む。焼き討ちや略奪を重ねながらの航海は波瀾万丈、スルタンの表敬を受け、嵐で座礁の憂き目にもあう。珍しい果物、香料、魚や鳥、そして間近に接した人々の言語風俗など、貴重な記録も満載。

朝日新聞 2023/09/16

2007:7./ 434p
978-4-00-334862-8

¥1,243〔税込〕



桓武天皇～決断する君主～(岩波新書 新赤版 1983)

瀧浪 貞子 著

岩波書店

血統に頼らず、政治的パフォーマンスに優れた「造作と軍事」の桓武天皇。長岡京、平安京への2度の遷都と、蝦夷との戦争を決断し、実弟・早良親王との骨肉の確執を乗り越えた多端な生涯を読み解く。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 286p
978-4-00-431983-2

¥1,166〔税込〕



暗い時代の人々(朝日文庫 も 25-1)

森まゆみ 著

朝日新聞出版

斎藤隆夫、山川菊栄、竹久夢二…。最も精神の抑圧された、1930～45年の「暗い時代」に、「精神の自由」を掲げて戦った10人の生の軌跡を、評伝の名手が描き出す。吉野作造の章を加えて文庫化。

朝日新聞 2023/09/16

2023:9./ 350p
978-4-02-262082-8

¥990〔税込〕



アルツハイマー征服(角川文庫 し 28-3)

下山 進 著

KADOKAWA

遺伝子の特定、ワクチン療法から抗体薬へ。名声に囚われた科学者の捏造事件、治療に失敗した巨大製薬会社の破綻など、幾多のドラマでアルツハイマー病治療法解明までの長い道を描く。レカネマブ開発秘話を加筆し文庫化。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 465p
978-4-04-114010-9

¥1,210〔税込〕



人間・動物・機械～テクノ・アニミズム～(角川 one テーマ 21)

奥野 卓司 著

角川書店

現代の動物と人間のつきあいの文化論。「人間を動物として解読する」ことと、「人間を機械として解読する」ことを並行して行ない、今日の人間と機械との関係を再度組み換え直し、人間文明の未来と人類の行きつく姿を展望する。

朝日新聞 2023/09/16

2002:1./ 201p
978-4-04-704065-6

¥628〔税込〕





珍獣のお医者さん<1>(HARTA COMIX)

二宮香乃 著

KADOKAWA

多様化する現代人のライフスタイルに合わせて増える多種多様なペット達。他の病院では断られてしまうような特殊な動物達の命を守る、ペット医療の最後の砦へ、ようこそ。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 206p

978-4-04-737647-2

¥792〔税込〕



AI～人工知能のコンセプト～(講談社現代新書)

西垣通 著

講談社

朝日新聞 2023/09/16

1988:10./ 262p

978-4-06-148920-2

¥694〔税込〕



我が手の太陽

石田 夏穂 著

講談社

鉄鋼を溶かすレベルの高温を扱う溶接作業は、工事現場の花形的存在。中でも腕利きの伊東は自他ともに認める熟練した溶接工だ。そんな伊東が、突然スランプに陥り…。異色の職人小説。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 140p

978-4-06-533076-0

¥1,650〔税込〕



足利将軍たちの戦国乱世～応仁の乱後、七代の奮闘～(中公新書 2767)

山田康弘 著

中央公論新社

応仁の乱後、弱体化しつつも 100 年にわたり権威を保持した足利将軍家。9 代義尚から 15 代義昭までの生涯と事績を丹念にたどり、各地の戦国大名との関係を解明。将軍たちの生き残りをかけた戦いを描く。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 9p,221p

978-4-12-102767-2

¥924〔税込〕



異能機関<上>

スティーヴン・キング 著

文藝春秋

異能の少年少女を拉致する謎の機関<研究所>。彼らは子供たちの超能力を利用して何を企図しているのか。抜群の頭脳を持つ 12 歳の少年ルークは知恵をめぐらせ、不穏な施設からの逃亡計画を温めはじめる…。

朝日新聞 2023/09/16

2023:6./ 361p

978-4-16-391717-7

¥2,970〔税込〕





異能機関<下>

スティーヴン・キング 著

文藝春秋

<研究所>を脱走したルーク。女所長は激怒し、自ら手下を率いて追跡する。一方<研究所>ではカーシャ、ニックらがついにその企みの全貌を目にする。立ち上がった少年少女たちと、非情なスタッフたちとの戦いがはじまり…。

朝日新聞 2023/09/16

2023:6./ 366p

978-4-16-391718-4

¥2,970〔税込〕



腹を空かせた勇者ども

金原 ひとみ 著

河出書房新社

私ら人生で一番エネルギー要る時期なのに。ハードモードな日常ちょっとえぐすぎん？ 陽キャ中学生レナレナが、「公然不倫」中の母と共に未来をひらく、知恵と勇気の爽快青春長篇。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/09/16

2023:6./ 249p

978-4-309-03106-4

¥1,760〔税込〕



気候崩壊後の人類大移動

ガイア・ヴィンス 著

河出書房新社

東京は亜熱帯化し、サハラ砂漠はヨーロッパまで拡大し、ニューヨークは水没する…。まもなくやってくる、10 億人以上が移住を迫られる時代。しかし、まだ希望は残っている！ 最新データで衝撃の近未来を描く。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 298p,18p

978-4-309-25461-6

¥2,970〔税込〕



リラの花咲くけものみち

藤岡陽子 著

光文社

獣医師を志した聡里は、北農大獣医学類に入学し、学業や動物病院でのアルバイトに奮闘する日々。伴侶動物の専門医を目指していたが、馬や牛など経済動物の医師のあり方を目の当たりにし…。『小説宝石』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 379p

978-4-334-91541-4

¥1,870〔税込〕



羊の怒る時～関東大震災の三日間～(ちくま文庫 え 21-1)

江馬 修 著

筑摩書房

1923 年 9 月 1 日、関東大震災が発生。突然起こった惨禍に、人々は動揺し、流言蜚語が飛び交い、多くの朝鮮人が虐殺された…。自らの衝撃的な体験をもとに書いた記録文学の金字塔。石牟礼道子によるエッセイも収録。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 310p

978-4-480-43904-8

¥924〔税込〕





海賊たちは黄金を目指す～日誌から見る海賊たちのリアルな生活、航海、そして戦闘～

キース・トムスン 著

東京創元社

数か月も身体を洗えない海賊船での生活とは？ どのくらいの収入があったのか？ いかなる戦法で敵と戦ったのか？ 7人の海賊が書き残した日誌をもとに、カリブの海賊のリアルな姿を描く。

朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 367p,13p
978-4-488-00398-2

¥2,970〔税込〕



「協力」の生命全史～進化と淘汰がもたらした集団の力学～

ニコラ・ライハニ 著

東洋経済新報社

ささいなことから壮大なことまで、人間が成し遂げてきたあらゆる成果には協力が必要だった。子どもの夜泣き、核家族の不幸、汚職や賄賂、陰謀論などを例に、「協力」という能力により進化してきた生物の歴史を探る。

朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 10p,303p,39p
978-4-492-22411-3

¥2,640〔税込〕



人形論

金森 修 著

平凡社

祓除の土偶や天児からビスクドール、究極のフェティッシュであるラブドール、ロボットやレプリカントまで、広汎豊饒な人形ワールドを「人形三角錐」という独自の概念枠で俯瞰し、人形の複雑さ、在り方の特徴を考察する。遺作。

朝日新聞 2023/09/16

2018:5./ 309p
978-4-582-20646-3

¥3,520〔税込〕



さみしい夜にはペンを持て

古賀 史健 著

ポプラ社

学校にも居場所がなく、自分のことが大嫌いなタコジロー。ある日、不思議なヤドカリおじさんが、ひとりの夜をどう過ごせばいいのかを教えてくれて…。自分との人間関係を築く本。書くのが止まってしまったら開ける袋綴じ付き。

朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 289p
978-4-591-17854-6

¥1,650〔税込〕



信頼の経済学～人類の繁栄を支えるメカニズム～

ベンジャミン・ホー 著

慶應義塾大学出版会

少人数の集まりから巨大な社会を築く根底には「信頼」のメカニズムが働いており、市場・法の支配から科学・気候問題まで、信頼なくしては存立しない。気鋭の経済学者が人類はいかにして互いを信頼するようになったかを論じる。

朝日新聞 2023/09/16

2023:6./ 4p,332p
978-4-7664-2882-7

¥3,520〔税込〕





人類学者と言語学者が森に入って考えたこと

奥野克巳、伊藤雄馬 著

教育評論社

東南アジアの狩猟採集民(森の民)を研究している人類学者と言語学者が、森の民とともに暮らして得た知見を語り尽くす。性別役割分業や、「持たない」ことが基本原理であることなど、閉塞した日本社会を打破するヒントを示す。

朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 222p
978-4-86624-084-8

¥1,980〔税込〕



中国における技術への問い〜宇宙技芸試論〜(ゲンロン叢書 012)

ユク・ホイ 著

ゲンロン

なぜ「技術」は西洋の伝統のうえでのみ定義され、論じられてきたのか。「近代の超克」を反省し、東洋思想を再び世界へと開くために必要な、「道」と「器」の再縫合はどのようなべきか。「宇宙技芸」の再発明に挑む。

朝日新聞 2023/09/16

2022:8./ 475p
978-4-907188-46-7

¥3,300〔税込〕



戦争と交渉の経済学〜人はなぜ戦うのか〜

クリストファー・ブラットマン 著

草思社

平和とは、敵同士が損得勘定で戦争を避けることにほかならない。戦争が起きる5つの原因を、ギャングの抗争や世界大戦などの幅広い実例と、ゲーム理論で解説。戦争がある世界をリアルに理解し、実効ある平和への道を考える書。

朝日新聞 2023/09/16、日本経済新聞 2023/09/30

2023:7./ 546p
978-4-7942-2662-4

¥3,740〔税込〕



鏡花短篇集(岩波文庫 緑 27-6)

川村 二郎 編

泉 鏡花 著

岩波書店

現実界を超え、非在と実在が交錯しあう幻視の空間を現出させる鏡花の文学。凝集したきらめきを放つそうした作品群から、定評ある『竜潭譚』『国貞えがく』をはじめ、絶品というべき『二、三羽ー十二、三羽』など九篇を選び収める。

朝日新聞 2023/09/23

1987:9./ 270p
978-4-00-310276-3

¥704〔税込〕



死と乙女(岩波文庫 赤 N790-1)

アリエル・ドルフマン 著

岩波書店

「あの医者よ」 シューベルトから逃げ続ける女主人公が不意の客人の声に探りあてたものとは。息詰まる密室劇の姿を借り、平和を装う恐怖、真実と責任追及、国家暴力の闇という人類の今日的アポリアを撃つ、チリ発戯曲の新訳。

朝日新聞 2023/09/23

2023:8./ 222p
978-4-00-377013-9

¥792〔税込〕





ハイチ革命の世界史～奴隷たちがきりひらいた近代～(岩波新書 新赤版 1984)

浜 忠雄 著
岩波書店

18 世紀末、黒人たちが自らの手で史上初の奴隷解放を達成したハイチ革命。半世紀に及ぶ研究をもとに、反レイシズム・反奴隷制・反植民地主義を掲げたこの革命と、苦難にみちた長いその後を、世界史的視座から叙述する。

朝日新聞 2023/09/23

2023:8./ 13p,215p,19p
978-4-00-431984-9

¥1,056〔税込〕



レーエンデ国物語

多崎 礼 著
講談社

英雄の父と旅に出た貴族の娘ユリア。呪われた地レーエンデで出会ったのは、寡黙な射手トリスタンだった。ユリアは、初めての友達、初めての仕事、初めての恋を経て、やがてレーエンデ全土の争乱に巻き込まれていく。

朝日新聞 2023/09/23

2023:6./ 492p
978-4-06-531946-8

¥2,145〔税込〕



レーエンデ国物語<2> 月と太陽

多崎 礼 著
講談社

名家の少年ルチアーノは屋敷を何者かに襲撃され、レーエンデ東部の村にたどり着く。そこで怪力無双の少女テッサと出会い、結婚の約束をするが、彼女は村の危機を救うため、戦場に出ることを決めて…。

朝日新聞 2023/09/23

2023:8./ 602p
978-4-06-532680-0

¥2,530〔税込〕



星のように離れて雨のように散った(文春文庫 し 54-4)

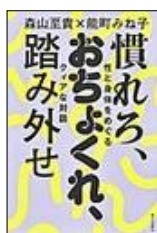
島本 理生 著
文藝春秋

幼い頃に失踪した父、書きかけの小説、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」。大学院生の春は、父との記憶を掘り起こすうちに、現在の自分の心の形が浮き彫りになっていき…。「私」をめぐる旅の物語。

朝日新聞 2023/09/23

2023:9./ 238p
978-4-16-792095-1

¥748〔税込〕



慣れろ、おちよくれ、踏み外せ～性と身体をめぐるクィアな対話～

森山至貴／能町みね子 著
朝日出版社

「LGBT」に分類して整理したら、終わりじゃない。人間の複雑さと繊細さの入り口に立ち、「クィア」を考える対話。壮大な「その他」たちが、すべての「普通」と「規範」を問い直す。

朝日新聞 2023/09/23

2023:7./ 318p
978-4-255-01348-0

¥1,980〔税込〕





龍蜂集(澁澤龍彦泉鏡花セレクション 1)

澁澤 龍彦 編

泉 鏡花 著

国書刊行会

幻想作家・泉鏡花の膨大多彩な作品群から、澁澤龍彦ならではの鑑識眼が選り抜いた小説・戯曲を集成。1 は、「山吹」「紫陽花」「酸漿」「春昼」「海異記」「貝の穴に河童の居る事」など全 21 篇を収録。

朝日新聞 2023/09/23

2019:10./ 501p
978-4-336-06545-2

¥9,680〔税込〕



ウクライナ動乱～ソ連解体から露ウ戦争まで～(ちくま新書 1739)

松里 公孝 著

筑摩書房

現地調査に基づき、ユーラシア世界の現代史を深層分析。ユーロマイダン革命、ロシアのクリミア併合、ドンバスの分離政権と戦争、ロシアの対ウクライナ開戦準備など、その知られざる実態を内側から徹底解明する。

朝日新聞 2023/09/23

2023:7./ 502p,8p
978-4-480-07570-3

¥1,430〔税込〕



創造性はどこからやってくるか～天然表現の世界～(ちくま新書 1742)

郡司ベギオ幸夫 著

筑摩書房

ふと何かが降りてくる。「アイデアが浮かばない」と悩む人への想像もつかない世界の外部を召喚するためのレッスンであり、生命基礎論の研究者が「天然表現」という作品制作を思い立ち、実現するまでのドキュメンタリー。

朝日新聞 2023/09/23

2023:8./ 286p
978-4-480-07575-8

¥1,034〔税込〕



リスペクト

ブレイディみかこ 著

筑摩書房

ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連帯して立ち上がり…。2014 年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。『ちくま』連載に加筆。

朝日新聞 2023/09/23

2023:8./ 273p
978-4-480-81573-6

¥1,595〔税込〕



九月と七月の姉妹

デージー・ジョンソン 著

東京創元社

9 月生まれのセプテンバーと、翌年 7 月生まれのジュライ。内気で意志の弱いジュライは、貪欲で残忍な姉の支配下にあるが、2 人の絆は揺るぎないものだった。強固な二者関係の辿り着く先は…。一篇の詩のように忘れがたい物語。

朝日新聞 2023/09/23

2023:6./ 198p
978-4-488-01126-0

¥2,200〔税込〕





リスボン大地震～世界を変えた巨大災害～

ニコラス・シュラディ 著

白水社

1755年、万聖節の朝、リスボンを襲った大地震と火災・津波は街を廃墟に変えた。リスボン大地震の実態と復興の足取りを史料を駆使して描き、社会・経済・科学・思想・宗教など広範囲に及んだ影響をたどる。

朝日新聞 2023/09/23

2023.8./ 276p, 11p 図版

16p

978-4-560-09371-9

¥4,180〔税込〕



草叢の迷宮～泉鏡花の文様の想像力～

三品 理絵 著

ナカニシヤ出版

明治後期の自然観・美意識を泉鏡花はどのように受けとめたのか。「草迷宮」において鏡花が構築した絢爛たる植物的異世界のありようを明らかにし、その試みが後の作品においてどのように展開されていくかを検討する。

朝日新聞 2023/09/23

2014.7./ 22p, 261p, 6p

978-4-7795-0846-2

¥4,180〔税込〕



アフター・アガサ・クリスティー～犯罪小説を書き継ぐ女性作家たち～

サリー・クライン、服部 理佳 著

左右社

暴力のリスクに晒されている女性たちが、犯罪小説を好んで読むのはなぜなのか？1920年代のアガサ・クリスティーの登場から、現代に至るまでの、女流作家による犯罪小説の系譜を丁寧に辿り、女性と犯罪小説の関係を探る。

朝日新聞 2023/09/23

2023.7./ 341p

978-4-86528-379-2

¥3,630〔税込〕



魯肉飯のさえずり(中公文庫 お 101-1)

温又柔 著

中央公論新社

就職から逃げるように結婚を選んだ桃嘉だが、理想だった夫に<大切なもの>を一つひとつふみにじられていく。傷に気付くとき、台湾人の母の一生が桃嘉の心を揺らし…。台湾と日本のはざままで母娘の痛みがこだまする長篇小説。

朝日新聞 2023/09/23、読売新聞 2023/09/24

2023.8./ 292p

978-4-12-207400-2

¥946〔税込〕



ヘイトクライムとは何か～連鎖する民族差別犯罪～(角川新書 K-432)

鵜塚 健／後藤 由耶 著

KADOKAWA

これまでも繰り返して起こってきた朝鮮学校への脅迫や生徒への暴行、ヘイトスピーチ。脅威を増すヘイトクライムはなぜ生まれるのか、関東大震災時から連綿と続く民族差別の歴史や社会背景を探り、差別の構造を解き明かす。

朝日新聞 2023/09/30

2023.9./ 252p

978-4-04-082472-7

¥1,034〔税込〕





硫黄島上陸～友軍ハ地下ニ在リ～

酒井 聡平 著

講談社

日本兵 1 万人がいまだ行方不明という、「硫黄島の戦い」の謎。滑走路下にいるのか、それとも…。新聞記者が、民間人の上陸が原則禁止された硫黄島に 4 度上陸し、日米の機密文書も徹底調査。執念でたどりついた真実を明かす。

朝日新聞 2023/09/30

2023:7./ 335p
978-4-06-532522-3

¥1,650〔税込〕



トゥルー・クライム・ストーリー(新潮文庫 ノ-1-4)

ジョセフ・ノックス 著

新潮社

女子大生が学生寮から姿を消して 6 年。イヴリンはこの事件の関係者への取材と執筆を開始。だが、拉致犯特定の証拠を入手後、彼女は帰らぬ人に。作家仲間ノックスは、遺稿をもとに犯罪ノンフィクションを完成させるが…。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 696p
978-4-10-240154-5

¥1,265〔税込〕



ツクサナツコの一生

益田 ミリ 著

新潮社

マスク生活 2 度目の春。32 歳のナツコは漫画を描く。世界と、誰かと、自分と“わかり合う”ために。自分の「好き」を大切に生きる人に贈るストーリー・マンガ。『小説新潮』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2023/09/30

2023:6./ 269p
978-4-10-351982-9

¥1,980〔税込〕



青春をクビになって

額賀 滯 著

文藝春秋

瀬川朝彦、35 歳。無給のポスト・ドクターとして古事記の研究に青春を賭してきたが、研究を続けるべきか煩悶していた。そんな折、ゼミ時代の先輩が大学の貴重な史料を持ったまま行方不明になってしまうという事件が…。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 218p
978-4-16-391746-7

¥1,760〔税込〕



毒入りコーヒー事件(宝島社文庫 このミス大賞 C と-4-3)

朝永 理人 著

宝島社

毒入りコーヒーを飲んで自殺したとされる箕輪家長男の要。十三回忌の嵐の夜、今度は父親の征一が同じ状況で死んだ。道路が冠水して医者や警察も来られないクロードサークル下で、過去と現在の事件が重なり合う。

朝日新聞 2023/09/30

2023:8./ 284p
978-4-299-04610-9

¥850〔税込〕





亀井俊介オーラル・ヒストリー～戦後日本における一文学研究者の軌跡～

亀井 俊介 著

研究社

岐阜生まれの軍国少年はいかにして戦後日本の代表的なアメリカ文学者・比較文学者となったのか。語りとインタビューという形式で、自らの学問史を自在に語る。平石貴樹による講演「亀井俊介研究序説」、著作目録・年譜も収録。

朝日新聞 2023/09/30

2017:4./ 7p,340p
978-4-327-48165-0

¥3,300〔税込〕



ガンディーの真実～非暴力思想とは何か～(ちくま新書 1750)

間 永次郎 著

筑摩書房

西洋文明が生み出すあらゆる暴力に抗うガンディーの非暴力思想はいかに生まれたのか。真実を直視し、真実と信じるものに忠実であろうとしたガンディーの生涯から、後の世代に大きな影響を与えた思想の全貌と限界に迫る。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 278p,8p
978-4-480-07578-9

¥1,034〔税込〕



日本ハードボイルド全集<7> 傑作集(創元推理文庫 M ん 11-7)

北上 次郎／日下 三蔵／杉江 松恋 編

東京創元社

日本ハードボイルドの歴史を凝縮した全集。7 は、大坪砂男の探偵作家クラブ賞受賞作「私刑」から、高城高の全集未収録短編まで全 16 編を収録する。編者 3 名の書き下ろし「日本ハードボイルド史」概説も掲載。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 655p
978-4-488-40027-9

¥1,650〔税込〕



アメリカ文学史講義<1> 新世界の夢

亀井 俊介 著

南雲堂

朝日新聞 2023/09/30

1997:5./ 312p
978-4-523-29243-2

¥2,304〔税込〕



アメリカ文学史講義<3> 現代人の運命

亀井 俊介 著

南雲堂

朝日新聞 2023/09/30

2000:4./ 304p
978-4-523-29245-6

¥2,304〔税込〕



アメリカ文学史講義<2> 自然と文明の争い

亀井 俊介 著

南雲堂

朝日新聞 2023/09/30

1998:10./ 316p
978-4-523-29250-0

¥2,304〔税込〕





日本近代詩の成立

亀井 俊介 著

南雲堂

比較文学の第一人者による、日本近代詩の研究集大成。日本近代の「詩」の営みをトータルに受け止め、ダイナミックに語る。和歌、漢詩、思想詩、人生詩も視野に収め、とりわけ翻訳詩は入念に読み解く。

朝日新聞 2023/09/30

2016:10./ 574p
978-4-523-29327-9

¥4,950〔税込〕



サーカスが来た!〜アメリカ大衆文化覚書〜(平凡社ライブラリー 786)

亀井 俊介 著

平凡社

ハリウッド、西部劇、 minstrel・ショー、ターザン、講演興行、そしてサーカス。アメリカ人につねに夢と希望を与えてきた大衆文化の魅力と興亡を論じた、アメリカ文化研究不朽の名作。

朝日新聞 2023/09/30

2013:5./ 375p
978-4-582-76786-5

¥1,870〔税込〕



ねみちゃんのチョコッキ(ねずみくんの絵本 40)

なかえ よしを 著

ポプラ社

ねずみくんが、ねみちゃんに編んでもらったチョコッキをきていたら、「いいチョコッキだね。ばくもほしいなあ」と、他の動物たちがやってくる…。「ねずみくんのチョコッキ」でお馴染みの動物たちが出てくる楽しいお話。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 32p
978-4-591-17883-6

¥1,430〔税込〕



結婚/毒〜コペンハーゲン三部作〜

トーヴェ・ディトレウセン 著

みすず書房

自分の経験の全てを題材として、女性のアイデンティティをめぐる葛藤を作品にしたデンマークの作家トーヴェ・ディトレウセン。ナチス・ドイツの影が迫り来る時代のコペンハーゲンを舞台に描かれる、記念碑的三部作を収録。

朝日新聞 2023/09/30

2023:6./ 437p
978-4-622-09616-0

¥4,620〔税込〕



近代日本メディア史<1> 1868-1918

有山 輝雄 著

吉川弘文館

明治新政権のメディア政策により、報道新聞がつくられた。新聞言論が活発化し、政府は讒謗律・新聞紙条例を公布して取り締まりを行う。明治国家体制のなかのメディアの役割形成など、第一次世界大戦までの歴史を描く。

朝日新聞 2023/09/30

2023:7./ 16p,365p,11p
978-4-642-03927-7

¥4,950〔税込〕





近代日本メディア史<2> 1919-2018

有山 輝雄 著

吉川弘文館

関東大震災後、朝日・毎日両新聞社の寡占体制となる。ラジオ放送の開始、国家総動員体制とメディアの協働関係…。活版印刷が消えてインターネットが始まった現代までの歴史を明らかにする。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 9p,405p,13p

978-4-642-03928-4

¥4,950〔税込〕



バスキア〜光と影の27年〜

パオロ・パリージ 著

花伝社

アートが巨大資本に呑み込まれていく時代、ポップ・アイコンの宿命を背負ったバスキアは、何と闘ったのか。ポップアートの巨匠、アンディ・ウォーホルとの出会いから、ドラッグによる早すぎる死までを描くグラフィックノベル。

朝日新聞 2023/09/30

2023:8./ 131p

978-4-7634-2075-6

¥2,200〔税込〕



まじょのすいぞくかん(こどものとも絵本)

佐々木マキ 著

福音館書店

森のなかにとつぜん現れた奇妙な水族館。そこには、水槽に入れられたおかしい魚たちがいた。「水のなかからだしてくれえ…」という声を聞いた女の子が水槽から水を抜くと、魚がどうぶつの姿になって…。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 31p

978-4-8340-8732-1

¥1,100〔税込〕



チビにいちゃんとOちゃん(チビにいちゃんのおはなし 1)

エディス＝ウンネルスタッド 著

瑞雲舎

好奇心旺盛で元気いっぱいのチビにいちゃんと、妹のO(オー)ちゃん。ふたりのドキドキ・ほっこりな日常を描いた5つの話を収録。スウェーデンの名作児童文学「すえっこOちゃん」の姉妹作を初邦訳。

朝日新聞 2023/09/30

2023:7./ 143p

978-4-907613-45-7

¥1,760〔税込〕



長恨歌

王安憶 著

アストラハウス

1940年代の虚栄の繁華、50～60年代の困窮と苦難、そして80年代のロマン的悲劇…。上海を舞台に、美しき主人公の青春から死に至る40年の人生を通して、街の繁栄と虚栄を描いた長編小説。

朝日新聞 2023/09/30

2023:9./ 643p

978-4-908184-46-8

¥3,520〔税込〕





超新星紀元

劉 慈欣 著

早川書房

超新星爆発により地球に放射線が降り注ぎ、人体細胞の染色体を破壊。いまから 1 年後、大人たちは死に絶え、人類文明は子どもたちに託されることに…。『三体』の中国 SF 作家・劉慈欣が若き日に着想を得た長篇デビュー作。

東京・中日新聞 2023/09/02

2023:7./ 475p
978-4-15-210254-6

¥2,310〔税込〕



焰と雪～京都探偵物語～

伊吹 亜門 著

早川書房

恋に憑かれた男は女につきまとい、失恋の果てに油をかぶって自らに火をつけたのか？ 男と女、愛と欲、正と邪。大正の京都に潜む情念に満ちた事件に露木と鯉城が挑む。「火中の蓮華」「いとしい人へ」など、全 5 編を収録。

東京・中日新聞 2023/09/02

2023:8./ 291p
978-4-15-210264-5

¥1,980〔税込〕



ものまね鳥を殺すのは～アラバマ物語<新訳版>～

ハーバー・リー 著

早川書房

1930 年代、アメリカ南部。白人女性への暴行の嫌疑がかけられた黒人男性の弁護にあたる父アティカスの姿を、娘のスカウトの無垢な瞳を通じて克明に描く。アメリカ文学の名作「アラバマ物語」の新訳。

東京・中日新聞 2023/09/02、東京・中日新聞 2023/09/10

2023:6./ 479p
978-4-15-210250-8

¥3,960〔税込〕



男たちの部屋～韓国の「遊興店」とホモソーシャルな欲望～

ファン・ユナ 著

平凡社

女性への暴力が日常的に行われている韓国の「遊興店」。ジェンダー化された空間で形作られる権力構造、暴力を「遊び」として収益化する遊興産業の営業戦略、労働の過程で発生する搾取とスティグマを、当事者女性の声から暴く。

東京・中日新聞 2023/09/03

2023:6./ 278p
978-4-582-82498-8

¥2,860〔税込〕



全国水害地名をゆく(インターナショナル新書 128)

谷川 彰英 著

集英社インターナショナル

近年、集中豪雨や台風による被害が増加している。地名ハンターが水にちなむ全国の地名を現地調査し、水と闘い共生してきた人々のエピソードとともに、その地名の本当の由来や変遷を探る。『毎日新聞デジタル』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/09/03

2023:8./ 252p
978-4-7976-8128-4

¥1,012〔税込〕





南海トラフ地震の真実

小沢慧一 著

東京新聞出版部

「発生確率 70～80%」と言われる南海トラフ地震、実は 20%!? 数字を決めたのは科学ではなかった! 地震学と行政・防災のいびつな関係を暴く。科学ジャーナリスト受賞の『中日新聞』『東京新聞』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/09/03

2023:8./ 245p

978-4-8083-1088-2

¥1,650〔税込〕



吉右衛門～「現代」を生きた歌舞伎役者～

渡辺 保 著

慶應義塾大学出版会

歌舞伎の世界に現代にも通じる「人間」を発見し、先人からの型を身体化すると同時に、現代的な意味を付与した吉右衛門。近代から現代へと歌舞伎の歴史的な転換を体現したその芸を徹底検証し、彼の「すご味」を詳らかにする。

東京・中日新聞 2023/09/03、産経新聞 2023/09/10、読売新聞 2023/09/17

2023:7./ 348p

978-4-7664-2902-2

¥3,520〔税込〕



新月の子どもたち

斉藤倫 著

ブロンズ新社

なぎ町小学校 5 年生の平居令と、トロイガルトの独房に暮らすレイン。2 人の少年の夢と現実が交錯し重なりあい、やがて未来の扉が開かれていく。詩人・斉藤倫が、生きにくさを生きる子どもたちへ贈る、希望と再生の物語。

東京・中日新聞 2023/09/09

2022:6./ 310p

978-4-89309-707-1

¥1,870〔税込〕



所有とは何か～ヒト・社会・資本主義の根源～(中公選書 138)

岸政彦/梶谷懐 著

中央公論新社

本やスマホ、土地や家屋、雇用や資産。なぜ人は所有を手放せないのか。富の偏在はなぜ無くならないのか。社会科学の最高峰の知見をふまえて所有の謎を紐解き、人間の本性や社会の成立過程、資本主義の矛盾を根底から捉え直す。

東京・中日新聞 2023/09/10

2023:6./ 12p,357p

978-4-12-110139-6

¥2,310〔税込〕



仙台あらえみし日和～杜の都で本と暮らす～

土方正志 著

プレスアート

夢野久作未発表書簡発見、被災地発信の文学賞、伝説の郷土作家、日本野球黎明期と仙台…。仙台で出版社&古本屋を営む<出版人>が、そのウラ話・こぼれ話を徒然なるままに綴る。『河北新報』日曜版掲載を加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2023/09/10

2023:6./ 413p

978-4-9912938-1-8

¥2,750〔税込〕





シルバー川柳<13> 妻の名を呼んだつもりがネコが来た

全国有料老人ホーム協会／ポプラ社編集部 編
ポプラ社

脱マスクよけい分からぬ誰だっけ 寝言では時々名句詠むらしい あの時に抜いた白髪が今惜しい 病なし薬なしでは話題なし 公益社団法人全国有料老人ホーム協会主催「シルバー川柳」の入選作、応募作を収録。

東京・中日新聞 2023/09/16

2023.9./ 124p
978-4-591-17890-4

¥1,210〔税込〕



ほどよく忘れて生きていく～91歳の心療内科医の心がラクになる診察室～

藤井英子 著
サンマーク出版

後悔しない、競争しない、我慢しすぎない。心はカラッと、人づきあいはサラッと、人生はさっぱりと…。89歳で開院、いまなお現役の漢方心療内科医が、“軽くなる”生き方を指南する。

東京・中日新聞 2023/09/16

2023.1./ 175p
978-4-7631-4035-7

¥1,540〔税込〕



その選択が健康寿命を決める(マイナビ新書)

森勇磨 著
マイナビ出版

人生100年時代のいま、健康寿命を延ばすためにできることは？正しい知識から自分で健康を選択しよう！健康、老化、病気、寿命など、普段何気なく使っている言葉から健康寿命の本質を考える。

東京・中日新聞 2023/09/16

2023.7./ 214p
978-4-8399-8313-0

¥990〔税込〕



歴史と危機意識～テロリズム・忠誠・政治～

橋川文三 著
中央公論新社

丸山眞男の昭和超国家主義研究に基底的疑問を投げかけ、それを覆した橋川文三。「テロリズムと政治」「日本テロリズムの断想」など、主にテロリズムと忠誠についての論考や、対談3篇等を収録する。

東京・中日新聞 2023/09/17

2023.6./ 330p
978-4-12-005667-3

¥3,520〔税込〕



かたちには理由がある(ハヤカワ新書 010)

秋田 道夫 著
早川書房

プロダクトデザインは私たちの暮らしと情操をいかに豊かにするのか？50年近くにわたり第一線で活躍してきたプロダクトデザイナーが、湯呑みから信号機まで自身の手がけた製品を題材に「かたち」をめぐる思考を展開する。

東京・中日新聞 2023/09/17

2023.8./ 141p
978-4-15-340010-8

¥990〔税込〕





J

延江 浩 著
幻冬舎

ふたりが出会った時、Jは85歳。数々の話題作を放つベストセラー作家であり尼僧。最後の恋の相手は母袋晃平、IT企業を経営する37歳…。かつてない<老いの自由>を描き切った書き下ろし純愛小説。

東京・中日新聞 2023/09/17

2023:6./ 176p
978-4-344-04134-9

¥1,760〔税込〕



「特攻」のメカニズム

加藤拓 著
中日新聞社

若者が国を守るために命をささげる美談として伝えられてきた特攻。「志願」だったのか「命令」だったのかも判然としない、日本特有のあいまいさの中から生まれた特攻のメカニズムを解き明かす。『中日新聞』連載に加筆修正。

東京・中日新聞 2023/09/17

2023:7./ 215p
978-4-8062-0807-5

¥1,650〔税込〕



Dr.マシリト最強漫画術

鳥嶋 和彦 著
集英社

『週刊少年ジャンプ』看板作家誕生の陰に編集者・鳥嶋和彦がいた! 最強の編集者が、プロの漫画家を目指す人たちのための最強の漫画術や、漫画ビジネスの舞台裏などを解説する。鳥山明、桂正和、稲田浩司との対談も収録。

東京・中日新聞 2023/09/23

2023:7./ 194p
978-4-08-790131-3

¥1,980〔税込〕



因果の刀～金春屋ゴメス～(新潮文庫 nex さ-64-33)

西條 奈加 著
新潮社

江戸国からの阿片流出事件について、日本から査察が。団長である大御所議員・印西は、秘密裡にゴメスに接触し、江戸国の開国と明け渡しを迫る。印西の目的は江戸国深くに眠る白緑石で…。書き下ろし長編。

東京・中日新聞 2023/09/23

2023:8./ 432p
978-4-10-180254-1

¥935〔税込〕



シェニール織とか黄肉のメロンとか

江國 香織 著
角川春樹事務所

母と暮らす作家の民子のもとに、イギリスから帰国した友人・理枝が居候させてほしいとやってきた。主婦の早希も交え、かつての「三人娘」は、西麻布のビストロで再会を祝し…。『ランティエ』連載に加筆訂正し単行本化。

東京・中日新聞 2023/09/23

2023:9./ 268p
978-4-7584-1449-4

¥1,870〔税込〕





未明の砦

太田 愛 著

KADOKAWA

大手自動車メーカーで働く4人の非正規工員は、共謀罪の初の標的となり、公安とグローバル企業を相手に闘うことを選ぶ。4人が決意した最後の実力行使の手段とは。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものに加筆修正。

2023:7./ 609p

978-4-04-113980-6

¥2,860〔税込〕



東京・中日新聞 2023/09/24



日本人が移民だったころ

寺尾 紗穂 著

河出書房新社

日本はかつて国策として移民を推奨する「移民送り出し国」だった。沖縄からパラグアイまで開拓地をめぐり、戦争に翻弄された労働者たちの声を拾い集める、聞き書きルポルタージュ。

2023:7./ 193p

978-4-309-03122-4

¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2023/09/24



報道弾圧～言論の自由に命を賭けた記者たち～(ちくま新書 1741)

東京新聞外報部 著

筑摩書房

新型コロナ発生を指摘して拘束、政権批判で暗殺、スパイ容疑で死刑…。世界中で繰り広げられている自由な報道に向けた記者たちの闘いを追い、報道の価値をあらためて問う。『東京新聞』『中日新聞』掲載を基に書籍化。

2023:8./ 267p

978-4-480-07569-7

¥1,012〔税込〕



東京・中日新聞 2023/09/24



遠い声、遠い部屋

トルーマン・カポーティ 著

新潮社

父親を探してアメリカ南部の小さな町を訪れたジョエル少年の、近づきつつある大人の世界に怯え屈折する心理と、脆くもうつろいやすい感情とを描いた、カポーティの半自伝的なデビュー長編。村上春樹による新訳。

2023:7./ 283p

978-4-10-501409-4

¥2,530〔税込〕



東京・中日新聞 2023/09/24、読売新聞 2023/09/24



藤原道長の権力と欲望～紫式部の時代～ 増補版(文春新書 1423)

倉本 一宏 著

文藝春秋

平安時代の摂関政治を代表する藤原道長による詳細な日記「御堂関白記」。その全現代語訳を手がけた著者が日記を精緻に読み解き、最高権力者の生々しい実像を明かす。紫式部の生涯を概述した補章を加えた増補版。

2023:8./ 286p

978-4-16-661423-3

¥1,155〔税込〕



東京・中日新聞 2023/09/30



図解でスッと頭に入る紫式部と源氏物語

竹内 正彦 著

昭文社

熾烈な権力闘争を繰り広げながらも華やかな装束に身を包み、和歌や管弦に興じる貴族文化が花開いた平安時代。そんな時代に生きた紫式部の生涯と平安後宮の生活、世界最古の恋愛小説「源氏物語」を地図やイラストで解説する。

東京・中日新聞 2023/09/30

2023:8./ 126p

978-4-398-14472-0

¥1,540〔税込〕



医学のひよこ(角川文庫 か 52-8)

海堂 尊 著

KADOKAWA

ひょんなことから東城大学医学部に通うことになった、中学3年生の曾根崎薫。洞窟で見たこともない巨大な「たまご」を発見し、大事に育てようとするが、大人たちの謀略に巻き込まれ…。ヨシタケシンスケとの対談も収録。

読売新聞 2023/09/03

2023:7./ 283p

978-4-04-113983-7

¥814〔税込〕



ハイデガーの哲学～『存在と時間』から後期の思索まで～(講談社現代新書 2711)

轟 孝夫 著

講談社

ハイデガーの哲学は「存在と時間」だけでは理解できない。悪名高いナチス加担、「反ユダヤ主義」問題から、難解で知られる後期思想まで、ハイデガーの研究者がその全貌を平明な言葉で解き明かす。

読売新聞 2023/09/03

2023:6./ 502p

978-4-06-532130-0

¥1,650〔税込〕



図解・気象学入門～原理からわかる雲・雨・気温・風・天気図～ 改訂版 (ブルーバックス B-2235)

古川 武彦／大木 勇人 著

講談社

雲は何でできている？ 雨粒はどうやって作られる？ 気象に関する素朴な疑問に答える入門書。大気や気圧などの基本原理を図とともに丁寧に解説する。気象用語の多くを網羅し、気象予報士を目指すスタートにも最適。

読売新聞 2023/09/03

2023:7./ 315p

978-4-06-532633-6

¥1,320〔税込〕



ギリシア人の物語<1> 民主政のはじまり(新潮文庫 し-12-46)

塩野 七生 著

新潮社

ギリシアに誕生した民主政の実像とは何か。なぜ機能したのか。少数兵力で巨大ペルシア帝国を破った民主主義の力とは。「ローマ人の物語」へとつながる「それ以前の世界」、西洋文明の源流であるギリシア人の歴史を描く。

読売新聞 2023/09/03

2023:8./ 541p 図版 12p

978-4-10-118112-7

¥1,210〔税込〕





赤毛のアン(新潮文庫)

モンゴメリ 著

新潮社

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた2人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく。

読売新聞 2023/09/03

2008:2./ 529p
978-4-10-211341-7

¥825〔税込〕



台湾漫遊鉄道のふたり

楊双子 著

中央公論新社

昭和13年、台湾。作家・青山千鶴子は台湾人通訳・王千鶴と出会う。千鶴と台湾縦貫鉄道に乗りこんだ千鶴子は、つぎつぎ台湾の味に魅了されていく。ただ、いつまでも心の奥を見せない千鶴に、千鶴子の焦燥感は募り...

読売新聞 2023/09/03

2023:4./ 371p
978-4-12-005652-9

¥2,200〔税込〕



次の関東大震災までに何をなすべきか〜「3・11」からの教訓〜

小滝晃 著

中央公論新社

いつの日か必ず来る巨大地震に備え、いま何をなすべきか。東日本大震災発生時、内閣府(防災担当)の総括参事官として緊急災害対策本部の最前線で対応に当たった著者が、日本の防災体制のあるべき姿について大胆に提言する。

読売新聞 2023/09/03

2023:8./ 190p
978-4-12-005684-0

¥2,200〔税込〕



関東大震災文豪たちの証言(中公文庫 い 141-1)

石井正己 編

中央公論新社

関東大震災時、大正ジャーナリズムの最前線にいた文豪たちは何を記録したのか。永井荷風、谷崎潤一郎、与謝野晶子らが残した文章に映し出された巨大災害のさまざまな局面から、今日への教訓を読み解く。文庫オリジナル。

読売新聞 2023/09/03

2023:8./ 297p
978-4-12-207399-9

¥990〔税込〕



安倍晋三実録

岩田 明子 著

文藝春秋

安倍には、もう一度総理大臣の座に返り咲くという夢があった。20年にわたり安倍晋三を取材してきた元NHK記者が、肉声を記録した膨大な取材メモから、その実像を描く。『文藝春秋』連載を大幅に加筆、再構成。

読売新聞 2023/09/03

2023:6./ 239p
978-4-16-391713-9

¥1,760〔税込〕





B-29の昭和史～爆撃機と空襲をめぐる日本の近現代～(ちくま新書 1730)

若林 宣 著

筑摩書房

模型や爆音レコードが販売された戦時下の人気コンテンツ「B-29」は、今も「火垂るの墓」などを通して知られている。「B-29」はいかにして、太平洋戦争そのものを象徴する存在になったのか。豊富な資料から読み解く。

2023:6./ 318p
978-4-480-07560-4

¥1,078〔税込〕



読売新聞 2023/09/03



民主主義の危機～比較分析が示す変容～

アダム・プシェヴォスキ 著

白水社

何が前例なきことなのか？ 何が起こり、何が起こりえないのか？ 過去 200 年間の多様かつ詳細なデータを用いて、いまデモクラシーに何が起きているのかを徹底的に解明する。比較政治学の世界的権威による最新診断。

2023:7./ 218p,22p
978-4-560-09358-0

¥2,640〔税込〕



読売新聞 2023/09/03



人を動かすナラティブ～なぜ、あの「語り」に惑わされるのか～

大治 朋子 著

毎日新聞出版

頭の中に浮かぶ物語「ナラティブ」は個人を、社会を突き動かす。ナラティブはいかなる力を持ち、なぜ人を虜にするのか。近年国内外で起きたさまざまな事件や現象の背後に潜むナラティブのメカニズムとその影響力を解き明かす。

2023:6./ 397p
978-4-620-32779-2

¥2,200〔税込〕



読売新聞 2023/09/03



東京の美しいドボク鑑賞術

小野田 滋／紅林 章央／高柳 誠也／北河 大次郎 著

エクスナレッジ

橋、ダム、首都高、水門、石垣…。東京のインフラには暮らしを支えるすごい技術や奥深い歴史が詰まっていた！ 知ると世界が変わる、ちょっとマニアックな土木を紹介する。データ:2023 年 3 月現在。

2023:5./ 175p
978-4-7678-3139-8

¥1,848〔税込〕



読売新聞 2023/09/03



世界失墜神話

篠田知和基 著

八坂書房

息子ゼウスに至高神の座を追われたクロノス、創造主に謀反し墮天使となったルシファー、罪を償うため地上へ送られたかぐや姫…。神や神に等しい英雄の失墜と世界の終末の諸相を東西の神話・伝説・文学にたどる。

2023:4./ 214p
978-4-89694-340-5

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2023/09/03



鹿川は糞に塗れて

イ・チャンドン 著
アストラハウス

映画監督として世界中にファンを持つ韓国の作家イ・チャンドンが、「映像の世界への転換点となった」と自ら振り返る小説集を邦訳。表題作をはじめ、「本当の男」「運命について」など、悲喜交々の生を問う全5編を収録する。

読売新聞 2023/09/03

2023:7./ 380p
978-4-908184-45-1

¥2,860〔税込〕



大規模言語モデルは新たな知能か～ChatGPT が変えた世界～(岩波科学ライブラリー 319)

岡野原 大輔 著
岩波書店

チャット GPT を支える大規模言語モデルとは、どのような仕組みなのか。何が可能となり、どんな影響が考えられるのか。人の言語獲得の謎も解き明かされるのか。新たな知能の正負両面をみつめ、今後の付き合い方を考える。

読売新聞 2023/09/03、朝日新聞 2023/09/09

2023:6./ 140p
978-4-00-029719-6

¥1,540〔税込〕



師匠はつらいよ～藤井聡太のいる日常～

杉本 昌隆 著
文藝春秋

将棋界を席卷する天才・藤井聡太。その師匠である著者が、強すぎる弟子と将棋の喜びをユーモラスに綴ったエッセー集。先崎学との対談も収録する。『週刊文春』連載を単行本化。

読売新聞 2023/09/03、朝日新聞 2023/09/30

2023:6./ 263p
978-4-16-391707-8

¥1,760〔税込〕



恋ははかない、あるいは、プールの底のステーキ

川上 弘美 著
講談社

小説家のわたし、離婚と手術を経たアン、作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメントで子ども時代を過ごした友人たちは、半世紀ほど後の東京で再会した-。たゆたうように心に届く大人の愛の物語。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/09/03、毎日新聞 2023/09/30

2023:8./ 291p
978-4-06-532438-7

¥1,870〔税込〕



アイヌ神謡集(岩波文庫 赤 80-1)

岩波書店

詩才を惜しまれながら19歳で世を去ったアイヌの少女・知里幸恵が編んだアイヌ神謡集。アイヌ民族の間で口伝に謡い継がれてきたユーカラの中から神謡13篇を選び、音を起したローマ字と日本語訳を併記。新たに解説を付す。

読売新聞 2023/09/10

2023:8./ 212p
978-4-00-320809-0

¥792〔税込〕





砂糖の世界史(岩波ジュニア新書)

川北 稔 著

岩波書店

茶や綿織物とならぶ「世界商品」砂糖。この、甘くて白くて誰もが好むひとつのモノにスポットをあて、近代以降の世界史の流れをダイナミックに描く。大航海時代、植民地、プランテーション、奴隷制度、三角貿易、産業革命―教科書に出てくる用語が相互につながって、いきいきと動き出すかのよう。

読売新聞 2023/09/10

1996:7./ 208p
978-4-00-500276-4

¥924〔税込〕



白鶴亮翅

多和田葉子 著

朝日新聞出版

ベルリンで一人暮らしをする美砂は、隣人 M さんに誘われて太極拳学校へ。ロシア人富豪や英語教師と共に、右腕を力強く上げる技「白鶴亮翅」を習う。そして世界の名作を女性の視点から読み直し…。『朝日新聞』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/09/10

2023:5./ 276p
978-4-02-251904-7

¥1,980〔税込〕



知的生活の方法(講談社現代新書 0436)

渡部 昇一 著

講談社

読書の技術、カードの使い方、書斎の整え方、散歩の効用、通勤時間の利用法、ワインの飲み方、そして結婚生活……。本書には、さまざまなヒントとアイデアが、著書自身の体験を通して、ふんだんに示されている。

読売新聞 2023/09/10

1976:4./ 214p
978-4-06-115836-8

¥924〔税込〕



さよなら日和(講談社文庫 ゆ 8-4)

行成 薫 著

講談社

閉園が決まった遊園地「星が丘ハイランドパーク」の最後の日。中学生の団体、年の離れたカップル、親子連れや老人夫婦らが、さまざまな思いを胸にハイランドを訪れる…。22人の喜怒哀楽を描く。

読売新聞 2023/09/10

2023:8./ 421p
978-4-06-532250-5

¥968〔税込〕



カミカゼの幽霊～人間爆弾をつくった父～

神立 尚紀 著

小学館

終戦の3日後、男は遺書を残し零戦に乗って飛び立ち、東の空のかなたに消えていった。名前を変え、素性を偽り戦後を生きた特攻兵器「桜花」の発案者・大田正一の謎多き生涯をたどる。

読売新聞 2023/09/10

2023:7./ 217p
978-4-09-389126-4

¥1,980〔税込〕





鐘を鳴らす子供たち(小学館文庫 ふ 1-6)

古内 一絵 著

小学館

放送劇は、物語は、きっと祈りなのだ。敗戦後の混乱期。突然、ラジオドラマに出演することになった小学生たちの、戸惑いと奮闘を描く。NHKの連続放送劇「鐘の鳴る丘」をモチーフとした物語。

読売新聞 2023/09/10

2023.8./ 331p
978-4-09-407284-6

¥803〔税込〕



百鬼園随筆(新潮文庫)

内田 百閒 著

新潮社

漱石の思い出から自らの借金話まで、軽妙洒脱、かつ飄逸な味わいを持つ独特の美文で綴られた作品群は、まさに香り高い美酒の滋味妙味たっぷり。洛陽の紙価を高めた古典的名著が、読みやすい新字新かな遣いで新潮文庫に登場。

読売新聞 2023/09/10

2002.4./ 362p
978-4-10-135631-0

¥693〔税込〕



ラバウル温泉遊撃隊

山崎 まゆみ 著

新潮社

「戦場の温泉」をテーマに、太平洋戦争有数の激戦地・ラバウルに幻の部隊の足跡を追う。戦争をまったく知らない世代の温泉ライターがジャングルの奥で見た光景とは?『週刊ポスト』連載に加筆修正し、単行本化。

読売新聞 2023/09/10

2009.7./ 233p
978-4-10-316431-9

¥1,540〔税込〕



カモナマイハウス

重松清 著

中央公論新社

不動産会社で空き家メンテナンス業に携わる孝夫。ある日、妻・美沙の実家が、気鋭の空間リノベーターによる「空き家再生策」の標的になり…。空き家をめぐる、家族の絆の物語。『婦人公論』連載を改題、加筆修正。

読売新聞 2023/09/10

2023.7./ 419p
978-4-12-005676-5

¥1,980〔税込〕



ジャガイモの世界史～歴史を動かした「貧者のパン」～(中公新書)

伊藤 章治 著

中央公論新社

痩せた土地でも育ち、栄養価の高いジャガイモは「貧者のパン」として歴史の転機で大きな役割を演じた。アイルランドの大飢饉、北海道開拓、ソ連崩壊といった、ジャガイモと人々をめぐるドラマを明らかにする。

読売新聞 2023/09/10

2008.1./ 243p
978-4-12-101930-1

¥924〔税込〕





ヒトラーの呪縛～日本ナチカル研究序説～<上>(中公文庫 さ 70-1)

佐藤 卓己、羽柴 康人 著

中央公論新社

「日本の大衆文化におけるナチズム」を分析。上は、海外フィクション文庫、映画、ロック音楽、プラモデルなどを取り上げ、現代日本におけるナチズム関連の大衆文化事情を概観する。後ろから読む資料編付き。

読売新聞 2023/09/10

2015:6./ 433p
978-4-12-206134-7

¥1,100〔税込〕



ChatGPT と語る未来～AI で人間の可能性を最大限に引き出す～

リード・ホフマン／GPT-4／伊藤 穰一 著

日経 B P 社

OpenAI 最初期の投資家×最先端 AI の対話でわかる、激変に備える 10 の視点。AI の潜在的なメリットとリスクを注意深く検討し、人々のヒューマニティを増幅するために、どう AI を使うかというビジョンを提示する。

読売新聞 2023/09/10

2023:7./ 245p
978-4-296-00160-6

¥1,980〔税込〕



異体字の世界～旧字・俗字・略字の漢字百科～ 最新版(河出文庫 こ 10-2)

小池 和夫 著

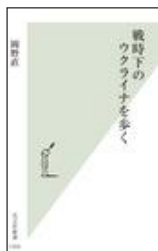
河出書房新社

「沢」と「澤」、「花」と「華」など、私たちの身近に転がっている異体字たち。常用漢字の変遷、人名用漢字の混乱、進化し続ける漢字の現在を、異形の文字から解き明かす。進化するスマホやパソコンに対応した最新版。

読売新聞 2023/09/10

2013:9./ 251p
978-4-309-41244-3

¥935〔税込〕



戦時下のウクライナを歩く(光文社新書 1264)

岡野直 著

光文社

地下壕での避難生活、ロシア軍による拉致・監禁…。戦争で変わった日常に対して、ウクライナの人々は何を感じて、日々をどう暮らしているのか。ジャーナリストが実際に現地を歩いて、見て、聞いた、市民による“戦い”の記録。

読売新聞 2023/09/10

2023:7./ 249p
978-4-334-04671-2

¥946〔税込〕



プーチンの戦争

中川 浩一 著

幻冬舎

プーチンはゼレンスキーに勝てるのか？ 戦争犯罪人プーチンを裁けるのか？ 安倍元総理の通訳も務めた外交のプロが、日本人にはわからない国際政治の新ルールをわかりやすく解説する。

読売新聞 2023/09/10

2023:6./ 259p
978-4-344-04112-7

¥1,540〔税込〕





戦争の近現代史～日本人は戦いをやめられるのか～(幻冬舎新書 ほ-10-1)

保阪 正康 著

幻冬舎

なぜ近代日本は戦争に突き進んだのか？ 戦争と日本について長年問い続けてきた著者が、日本近現代の戦争の歴史から、次代の日本のあるべき姿を提言する。2022年開催の講座をもとに大幅に加筆修正。

2023.7./ 221p
978-4-344-98702-9

¥990〔税込〕



読売新聞 2023/09/10



走る道化、浮かぶ日常

九月 著

祥伝社

要らないものがそこに存在することの意味を、もし面白いものとして表現できたなら、なんだか世界が豊かになる気がする。重箱の隅をつついては壊し、社会の違和感を面白がる魑魅魍魎エッセイ。全 18 篇を収録。

2023.8./ 190p
978-4-396-61809-4

¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/09/10



氏名の誕生～江戸時代の名前はなぜ消えたのか～(ちくま新書 1567)

尾脇 秀和 著

筑摩書房

江戸時代、人名には身分を表示する役割があったが、王政復古を機に破綻。さらに新政府により「氏名」が生まれ、それは国民管理の道具へと変貌し…。歴史研究者が「氏名」誕生の歴史から、近世・近代移行期の実像を活写する。

2021.4./ 313p
978-4-480-07376-1

¥1,034〔税込〕



読売新聞 2023/09/10



独裁者の料理人～厨房から覗いた政権の舞台裏と食卓～

ヴィトルト・シャブウォフスキ 著

白水社

サダム・フセインは何万人ものクルド人をガスで処刑するよう命じた後、何を食べたのか？ ポル・ポトやカストロが食べていたものは？ 20 世紀の 5 人の独裁者に仕えた料理人たちの悲喜こもごもの人生を描く。レシピ付。

2023.4./ 334p
978-4-560-09482-2

¥3,300〔税込〕



読売新聞 2023/09/10



肥料争奪戦の時代～希少資源リンの枯渇に脅える世界～

ダン・イーガン 著

原書房

肥料として農業を支え、人類に不可欠な元素リン。そのリンは世界的に枯渇し、争奪戦が起きる一方で、海洋や河川に垂れ流され、水質を汚染している。世界が注視するリン問題を、ピューリッツァー賞ファイナリストが追及する。

2023.7./ 269p,16p
978-4-562-07296-5

¥3,080〔税込〕



読売新聞 2023/09/10



暗殺コンサル(ハーパーBOOKS M・ソ2・1)

イム・ソンスン 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

僕は、会社の依頼を受け、“顧客”が事故や自殺で亡くなる筋書きを描く、キーボードを叩くだけの殺し屋だ。会社はシナリオに沿って暗殺する。その自然な死は誰にも疑われず、僕は高給を受け取る…。ある殺し屋の告白。

読売新聞 2023/09/10

2023:7./ 327p

978-4-596-52140-8

¥1,100〔税込〕



いくつもの砂漠、いくつもの夜～災厄の時代の喪と批評～

鶴飼哲 著

みすず書房

戦争、地震、原発、疫病、差別と抗争…。この時代に死者を悼みつつ生き続け、新たな旅へと誘う哲学・文学・芸術とは？未知の世界への他者からの招待、その歓待に応答を試みる、21世紀の論考集成。

読売新聞 2023/09/10

2023:5./ 4p,365p

978-4-622-09610-8

¥4,950〔税込〕



ルポ アフリカに進出する日本の新宗教

上野 庸平 著

花伝社

アフリカ人はなぜ日本の新宗教を真理として受け入れ、純粋に信仰するのか。幸福の科学、統一教会、真如苑、創価学会など日本の新宗教のアフリカにおける活動、信者の考え、信仰心、布教のコンテキスト等をまとめる。

読売新聞 2023/09/10

2016:7./ 220p

978-4-7634-0784-9

¥1,650〔税込〕



色彩別爬虫類・両生類図鑑

川添宣広 著

カンゼン

撮影時の色彩を基準に、色でカテゴライズした爬虫類・両生類図鑑。赤・青・黄・緑・虹色など色彩別に美しい写真を掲載し、それぞれの種類についても簡潔に解説する。

読売新聞 2023/09/10

2023:8./ 303p

978-4-86255-694-3

¥2,970〔税込〕



SPレコード蒐集奇談

岡田 則夫 著

ミュージック・マガジン

北海道から沖縄まで、全都道府県でのSPレコード収集を目ざし、ガラクタ道具屋や蔵が多い古風な町を訪ね歩いた旅のエピソードや、収集のノウハウを紹介。『レコード・コレクターズ』連載から40編をセレクトして単行本化。

読売新聞 2023/09/10

2012:12./ 463p

978-4-943959-30-4

¥2,640〔税込〕





名画のコスチューム～拡大でみる 60 の職業小事典～

内村 理奈 著

創元社

医者、衛兵、踊り子、執事、床屋…。中世から近代までのフランスを中心とした絵画の中から、職業にまつわる 60 のキャラクターを厳選して、服飾の細部を拡大掲載し、そのコスチュームを解説する。「名画のドレス」姉妹編。

読売新聞 2023/09/10、産経新聞 2023/09/24

2023.5./ 255p
978-4-422-70145-5

¥3,520〔税込〕



山の本棚

池内 紀 著

山と溪谷社

古今東西、山と人、自然から生まれた言葉の森を歩く。「檜山節考」「高野聖」「山びとの記」「手仕事の日本」「山の声」「ファールブル記」など、『山と溪谷』で 12 年に渡り綴った書評エッセイ全 153 回分を収録。

読売新聞 2023/09/10、毎日新聞 2023/09/30

2023.6./ 470p
978-4-635-17212-7

¥1,980〔税込〕



PYRAMIDEN(Lens of Wonder)

佐藤健寿 著

朝日新聞出版

街の背後に控える壮大な氷河と、毅然と立ち並ぶ社会主義的な住宅群。1991 年のソビエト連邦崩壊後、徐々に人々が姿を消し、世界最北のゴースタウンとなったピラミデンの“今”を写し撮った写真集。

読売新聞 2023/09/17

2023.6./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-02-258714-5

¥2,970〔税込〕



領怪神犯<2>(角川文庫 き 49-2)

木古 おうみ 著

KADOKAWA

理解不能な神々が引き起こす超常現象「領怪神犯」。20 年前、領怪神犯対策本部に入れられた青年・烏有は、元刑事と民俗学者と共に各地の奇怪な現象を追っていたが…。『カクヨム』掲載を加筆し文庫化。

読売新聞 2023/09/17

2023.7./ 257p
978-4-04-113799-4

¥726〔税込〕



百年の女～『婦人公論』が見た大正、昭和、平成～(中公文庫 さ 87-1)

酒井順子 著

中央公論新社

大正、昭和、平成と 3 つの世をまたいで、日本の女性達を導き、受け止め続けてきた雑誌『婦人公論』。その 100 年の歴史をひもとき、日本女性がいかに生きてきたかを振り返る。

読売新聞 2023/09/17

2023.6./ 454p
978-4-12-207377-7

¥1,100〔税込〕





1990 年の CBS・ソニー(MdN 新書 051)

稲垣博司 著

エムディエヌコーポレーション

奇跡のアイドル・松田聖子、一時代のカリスマ・尾崎豊、世界の YOSHIKI…。世界を視野に日本を代表する多くのアーティストを発掘してきた著者が、時代を席捲したレーベルの栄光の軌跡を語る。川添象郎との対談も掲載。

2023:8./ 215p

978-4-295-20595-1

¥1,100〔税込〕



読売新聞 2023/09/17



向井と裏方

TOKYO FM「向井と裏方」制作班 編

河出書房新社

ディレクター、プロデューサー、放送作家、ラジオ局局員…。全国のラジオ番組に携わる裏方さんを、パンサー向井慧がゲストにお迎えして、番組の舞台裏を語る。TOKYO FM の AuDee 番組を書籍化。

2023:8./ 286p

978-4-309-25704-4

¥1,782〔税込〕



読売新聞 2023/09/17



猫の木のある庭(河出文庫 お 47-1)

大演 普美子 著

河出書房新社

今でも私は時折、猫の木の夢を見る。姿の見えない鈴の音が聞こえる不思議な引越し先を描いた表題作をはじめ、奇矯な画家の母を追想する「たけこのぞう」など、白昼夢のような世界へ手を引かれる極上の幻想譚全 6 篇を収録。

2023:7./ 297p

978-4-309-41975-6

¥1,089〔税込〕



読売新聞 2023/09/17



新書 100 冊～視野を広げる読書～(光文社新書 1273)

高橋昌一郎 著

光文社

本当に必要な知識を見失わないためには、何を読めばよいのか。近年刊行された 5000 冊の新書から 100 冊を厳選。ニュースの背景からあの学問の最先端まで、多彩な分野のエッセンスを凝縮した珠玉のブックガイド。

2023:9./ 444p

978-4-334-10067-4

¥1,298〔税込〕



読売新聞 2023/09/17



ことばの白地図を歩く～翻訳と魔法のあいだ～(あいだで考える)

奈倉 有里 著

創元社

国境線のない真っ白な地図を持って、ことばと翻訳の旅に出よう！ロシア文学の研究と翻訳をしている著者が、自身の留学体験や文芸翻訳の実例を踏まえつつ、他言語に身をゆだねる魅力や迷い、醍醐味などを綴る。作品案内付き。

2023:6./ 157p

978-4-422-93099-2

¥1,540〔税込〕



読売新聞 2023/09/17



茶道バイリンガル事典

岡本浩一 著

大修館書店

茶の湯文化に関する事項を網羅した流派中立的な茶道事典。英語で茶道を教えたい人に役立ち、海外に日本文化を普及するための英語表現を学べるよう英語・日本語で解説。懐石料理・建築・侘び寂びへの関心にも応える。索引完備。

読売新聞 2023/09/17

2023.8./ 49p,549p
978-4-469-01292-7

¥27,500〔税込〕



福沢諭吉変貌する肖像～文明の先導者から文化人の象徴へ～(ちくま新書 1745)

小川原 正道 著

筑摩書房

福沢諭吉は、生前からいかなる批判や批評にさらされ、その没後、知識人たちは彼をどう論じ、その評価はいかに変遷してきたのか。その系譜をたどり、福沢像の変遷の過程を考察する。

読売新聞 2023/09/17

2023.8./ 280p
978-4-480-07576-5

¥1,034〔税込〕



何かが道をやってくる(創元 SF 文庫 SF 7 1-1)

レイ・ブラッドベリ 著

東京創元社

その年、ハロウィーンはいつもより早くやってきた。そしてジムとウィル、ふたりの13歳の少年は、一夜のうちに永久に子供ではなくなった。魔女の徘徊する悪夢の世界が現出する、ファンタジー。著者自身によるあとがきを付す。

読売新聞 2023/09/17

2023.7./ 412p
978-4-488-61207-8

¥1,210〔税込〕



永田耕衣の百句～卑俗性を対象化する～

仁平勝 著

ふらんす堂

五七五の言葉がときにその意図を超えて飛躍し、読む者を魅了する永田耕衣の句。その作品を100句厳選し、解説文とともに紹介する。初句・季語索引付き。

読売新聞 2023/09/17

2022.7./ 203p
978-4-7814-1492-8

¥1,650〔税込〕



ブックオフから考える～「なんとなく」から生まれた文化のインフラ～

谷頭 和希 著

青弓社

1990年代以降の「ブックオフ論」をたどり、実際に店舗を観察して、「なんとなく性」という切り口から、ブックオフの魅力や現代社会での役割を照らし出す。『マガジン航』等掲載に加筆、書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/09/17

2023.6./ 246p
978-4-7872-3520-6

¥1,980〔税込〕





ビジュアル世界の偽物大全～フェイク・詐欺・捏造の全記録～

ナショナル ジオグラフィック 編

ブライアン・インズ／クリス・マクナブ 著

日経ナショナルジオグラフィック社

専門家が調査した数世紀にわたる歴史上最も巧妙な詐欺の数々を、200枚にのぼる写真とともに掲載。偽造されたヒトラーの日記から、50年間男性医師のふりをした女性まで、奇抜な詐欺の経緯と、その独創的な手法に迫る。

読売新聞 2023/09/17

2023.6./ 255p
978-4-86313-563-5

¥2,970〔税込〕



芸術のわるさ～コピー、パロディ、キツチュ、悪～

成相 肇 著

かたばみ書房

コピーはなぜ怖い？<不幸なる芸術>とは何か？美術と雑種的な視覚文化を混交させる展覧会を企画してきた学芸員が、1970年代の複製文化の脈合いを読みとき、機知と抵抗の技術として甦らせる。パロディ辞典付き。

読売新聞 2023/09/17、朝日新聞 2023/09/23

2023.6./ 385p,11p
978-4-910904-00-9

¥3,520〔税込〕



人間の条件<上>(岩波現代文庫 文芸 87)

五味川 純平 著

岩波書店

棉のような雪が静かに舞い降りる宵闇、1943年の満洲で梶と美千子の愛の物語がはじまる。植民地に生きる日本知識人の苦悶、良心と恐怖の葛藤、軍隊での暴力と屈辱、すべての愛と希望を濁流のように押し流す戦争……

読売新聞 2023/09/24

2005.1./ 590p
978-4-00-602087-3

¥1,650〔税込〕



人間の条件<中>(岩波現代文庫 文芸 88)

五味川 純平 著

岩波書店

中国人労働者斬首に抗議した梶は憲兵隊に捕われ、召集免除の特典を取り消された。軍隊内の過酷な秩序、初年兵に対する一方的な暴力、病院を出た梶はソ満国境に転戦、蛸壺に立てこもる日本兵にソ連戦車隊の轟音が迫る……

読売新聞 2023/09/24

2005.2./ 646p
978-4-00-602088-0

¥1,650〔税込〕



人間の条件<下>(岩波現代文庫 文芸 89)

五味川 純平 著

岩波書店

ソ連戦車隊と夥しい歩兵が、国境線を越えた。蛸壺にこもり、迎え撃つ梶たちの中隊は数人を残して壊滅。捕虜となるが脱走し、遮る物とてない曠野を彷徨する梶の上に雪は無心に舞い続ける……

読売新聞 2023/09/24

2005.3./ 604p
978-4-00-602089-7

¥1,760〔税込〕





二十四の瞳 改版(角川文庫)

壺井 栄 著

角川書店

昭和のはじめ、瀬戸内海の小島に赴任したばかりの大石先生と、個性豊かな 12 人の教え子たちによる人情味あふれる物語。戦争のもたらす不幸、貧しい者が常に虐げられることへの怒りを訴えた不朽の名作。

読売新聞 2023/09/24

2007:6./ 249p
978-4-04-111311-0

¥396〔税込〕



昭和二十年夏、僕は兵士だった(角川文庫 か 58-1)

梯 久美子 著

角川書店

俳人・金子兜太、考古学者・大塚初重、俳優・三國連太郎、漫画家・水木しげる、建築家・池田武邦。戦場で青春を送り、あの戦争を生き抜いてきた 5 人の著名人の苦悩と慟哭の記憶。

読売新聞 2023/09/24

2011:6./ 306p
978-4-04-394449-1

¥649〔税込〕



復刻 世紀の遺書

巣鴨遺書編纂会 編

講談社

BC 級戦犯の遺書でつづる感動の人間記録。昭和 28 年に刊行された BC 級戦犯を中心とする遺書、遺稿集の復刻。世界各地で処刑された人々の祖国、肉親への熱き思いが読む者の胸をうつ、反戦平和の不朽文字。

読売新聞 2023/09/24

1984:8./ 800p
978-4-06-200836-5

¥4,175〔税込〕



流る島と海の怪物

田中 慎弥 著

集英社

「俺」は、あるお屋敷で神秘的な姉妹に出会った。母はなぜ「俺」を姉妹に会わせたのか。それは、自分の出生の秘密と、姉妹の母の故郷である島にまつわる悲しい神話に結びついていて…。『すばる』連載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2023/09/24

2023:6./ 316p
978-4-08-771837-9

¥2,145〔税込〕



野火 改版(新潮文庫)

大岡 昇平 著

新潮社

読売新聞 2023/09/24

1982:4./ 182p
978-4-10-106503-8

¥539〔税込〕





J・S・ミル～自由を探究した思想家～(中公新書 2757)

関口正司 著
中央公論新社

19世紀の英国で活躍し、道徳と政治のあり方を探究した思想家J・S・ミル。父との確執、ペンサムへの傾倒、精神的危機、伴侶ハリエットとの出会いと別れなど、その生涯を丹念に追いながら、彼の思想の本質を描き出す。

読売新聞 2023/09/24

2023:6./ 5p,281p
978-4-12-102757-3

¥1,012〔税込〕



収容所(ラーゲリ)から来た遺書(文春文庫)

辺見 じゅん 著
文芸春秋

戦後十二年目にシベリア帰還者から遺族に届いた六通の遺書。その背後に驚くべき事実が隠されていた!大宅賞と講談社ノンフィクション賞のダブル受賞に輝いた感動の書。

読売新聞 2023/09/24

1992:6./ 297p
978-4-16-734203-6

¥715〔税込〕



ノモンハンの夏(文春文庫)

半藤 一利 著
文芸春秋

司馬遼太郎氏が最後にとり組もうとして果たせなかったテーマを、共に取材した著者がモスクワ・ベルリンの動静を絡めつつ描いた傑作

読売新聞 2023/09/24

2001:6./ 471p
978-4-16-748310-4

¥858〔税込〕



精選女性随筆集 幸田文(文春文庫 編 22-1)

川上 弘美 編
幸田 文 著
文芸春秋

近現代の輝かしい女性作家の随筆を精選した本格的アンソロジー。折々の身近雑記や動植物への親しみなどを綴った、稀代の名文家・幸田文の随筆作品を収録する。

読売新聞 2023/09/24

2023:9./ 254p
978-4-16-792103-3

¥1,100〔税込〕



偽情報と独裁者～SNS 時代の危機に立ち向かう～

マリア・レッサ 著
河出書房新社

独裁体制強化のため、フェイスブックを巧みに利用した元フィリピン大統領ドゥテルテ。フィリピンのジャーナリストが、一般市民に力を与えるはずのソーシャルメディアが独裁者の武器に変わっていった過程を克明に描き出す。

読売新聞 2023/09/24

2023:4./ 337p,27p
978-4-309-23129-7

¥2,420〔税込〕





「東京文学散歩」を歩く(ちくま新書 1738)

藤井 淑禎 著

筑摩書房

戦後、文学散歩ブームを起こした野田宇太郎「東京文学散歩」。往年と現在との比較が興味深い個所などを紹介しつつ、いまの東京を訪ね歩いて検証。独自のコースも提唱し、新たな散歩の楽しみを提案する。折り込み地図付き。

読売新聞 2023/09/24

2023:7./ 251p
978-4-480-07567-3

¥1,034〔税込〕



記録ミッドウェー海戦(ちくま学芸文庫 サ 52-1)

澤地 久枝 著

筑摩書房

太平洋戦争の転換点となったミッドウェー海戦。日本側 3056 名、アメリカ側 362 名の戦死者の生年、所属階級、家族構成などを突き止め、手紙やインタビュー等を通じて戦死者とその家族の声を拾い上げた記録。

読売新聞 2023/09/24

2023:6./ 636p
978-4-480-51187-4

¥1,870〔税込〕



地球の中心までトンネルを掘る(創元推理文庫 F ウ 10-1)

ケヴィン・ウィルソン 著

東京創元社

代理祖父母派遣会社のエースとして「祖母」を演じる女性、発火体質でありながら製菓店の娘に恋する青年、折りヅルを使う遺産相続ゲームに挑む男たち…。とびきりヘンで、優しく、がむしゃらな人々を描いた短編集。

読売新聞 2023/09/24

2023:8./ 397p
978-4-488-56805-4

¥1,430〔税込〕



空想地図帳～架空のまちが描く世界のリアル～

今和泉 隆行 著

学芸出版社

広域の地図帳から地形図、都市地図、古地図に至るまで、地図の種類ごとの読み方を解説しつつ、さまざまな作者による実在しない都市や地域を描いた空想地図を紹介。空想地図の修正過程や、空想地図の描き方を収録。

読売新聞 2023/09/24

2023:6./ 127p
978-4-7615-2856-0

¥2,750〔税込〕



身近な鳥のすごい巣(イースト新書 Q Q090)

鈴木まもる 著

イースト・プレス

鳥の巣を見れば、その鳥の奥深い生態や生存戦略、恐竜から鳥になった進化の過程などが見えてくる。鳥の巣の不思議で神秘的な面白さを、豊富なカラーイラストとともに、斬新な視点からユーモラスに解説する。

読売新聞 2023/09/24

2023:5./ 190p
978-4-7816-8090-3

¥1,100〔税込〕





ビジネスケアラー～働きながら親の介護をする人たち～(ディスカヴァー携書 249)

酒井 稜 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

働きながら親の介護をする「ビジネスケアラー」。自身も 30 年以上に渡る介護経験者の著者が、ビジネスケアラーの新・常識や、仕事と介護を両立させるための具体的な方法を紹介。介護と肯定的に向き合うための指針も示す。

読売新聞 2023/09/24

2023.7./ 216p
978-4-7993-2974-0

¥1,210〔税込〕



あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。

汐見夏衛 著

スターツ出版

家を飛び出した中 2 の百合。目をさますと、そこは戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられた百合は、彼に惹かれていくが、彼は特攻隊員で…。2023 年 12 月公開映画の原作。書き下ろし番外編も収録する。

読売新聞 2023/09/24

2023.6./ 378p
978-4-8137-9247-5

¥1,540〔税込〕



ポルトガルの海～フェルナンド・ペソア詩選～ 増補版(ポルトガル文学叢書)

フェルナンド・ペソア 著

彩流社

タブッキの「インド夜想曲」、ヴェンダースの映画「リスボン物語」で紹介され、ドゥルーズ、パスなど多くの知識人の高い評価を集めるポルトガルの「知性派の抒情詩人」の詩選集。

読売新聞 2023/09/24

1997.1./ 244p
978-4-88202-435-4

¥2,420〔税込〕



索引 ～の歴史～書物史を変えた大発明～

デニス・ダンカン 著

光文社

索引をめぐる物語は、冊子本や活版印刷の発明などの書物史とともにあり、情報処理の歴史でもある。興味深いエピソードとともに、13 世紀の写本の時代から今日の電子書籍まで連なるその道筋を描き出す。

読売新聞 2023/09/24、日本経済新聞 2023/09/30

2023.8./ 429p
978-4-334-10031-5

¥3,520〔税込〕



風と共に去りぬ<第 1 巻>(新潮文庫 ミ-4-1)

マーガレット・ミッチェル 著

新潮社

アメリカ南部の大農園<タラ>に生まれたスカーレット。若さと美しさを満喫し、激しい気性だが言い寄る男には事欠かない。だがアシュリが結婚すると聞いて自棄になり、別の男と結婚したのも束の間、南北戦争が勃発し…。

日本経済新聞 2023/09/02

2015.4./ 460p
978-4-10-209106-7

¥880〔税込〕



不思議の国のアリス(新潮文庫)

ルイス・キャロル、矢川 澄子、金子 国義 著
新潮社
日本経済新聞 2023/09/02

1994:2./ 181p
978-4-10-240101-9

¥539〔税込〕



京都発見<1> 地霊鎮魂

梅原 猛 著
新潮社
京都は歴史の冷凍庫である。古都の寺社を巡り、千二百年の時間を越えて、天皇・貴族から宗教者、民衆までの魂の声を聞く梅原流京都案内。カラー写真も満載。

1997:1./ 302p
978-4-10-303012-6

¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



御成敗式目～鎌倉武士の法と生活～(中公新書 2761)

佐藤雄基 著
中央公論新社
初の武家法として名高い「御成敗式目」はどのように生まれ、なぜ広く知れ渡ったのか。主要な条文を詳しく解説し、受容の実態や後世への影響を視野に、知られざる実像を明かす。51 か条の条文の書き下しも収録。

2023:7./ 6p,278p
978-4-12-102761-0

¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



緋色の記憶 新版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 395-2)

トマス・H・クック 著
早川書房
村にやってきた美しい美術教師が同僚を愛したことで起こった事件。老弁護士が回想する思い出と、公判記録の中で語られるこの事件が引き起こした悲劇とは…。精緻な文章で人の心の闇を描いた伝説の傑作ミステリを復刊。

2023:4./ 494p
978-4-15-179952-5

¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



ChatGPTの頭の中(ハヤカワ新書 009)

スティーヴン・ウルフラム 著
早川書房
進化を続ける生成 AI の可能性と限界はどこにあるのか。人工知能チャットボット「ChatGPT」の根幹をなす「ニューラルネット」「大規模言語モデル」の基礎と歴史について、理論物理学者が詳細に解き明かす。

2023:7./ 166p
978-4-15-340009-2

¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



薩南示現流(文春文庫)

津本 陽 著

文芸春秋

勇猛とおそれられた示現流開祖・東郷重位の厳しき生きざまを描ききった表題作ほか、示現流達人たちの太刀風を活写した剣豪小説集

2006:2./ 303p
978-4-16-731456-9

¥704〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02

真実の瞬間～SASのサービス戦略はなぜ成功したか～

ヤン・カールソン 著

ダイヤモンド社

日本経済新聞 2023/09/02

1990:3./ 208p
978-4-478-33024-1

¥1,388〔税込〕



無形資産経済見えてきた5つの壁

ジョナサン・ハスケル／スティアン・ウェストレイク 著

東洋経済新報社

無形資産が経済を支配する中で発生した「経済停滞、格差拡大、機能不全の競争、脆弱性、正統性欠如」という5つの問題にどう立ち向かえばいいのか。金融と経済政策立案の最前線で活躍する著者が、経験に基づいて処方箋を示す。

2023:7./ 7p,311p,55p
978-4-492-31553-8

¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



「つながり」の創りかた～新時代の収益化戦略リカーリングモデル～

川上 昌直 著

東洋経済新報社

売り切り企業が、リカーリングモデルに転身して成功する条件とは。サブスクリプションをはじめとする「リカーリングモデル」と「つながり」をテーマに、これからのビジネスのあり方を解き明かす。

2019:6./ 6p,269p,8p
978-4-492-53412-0

¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



「若者の読書離れ」というウソ～中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか～(平凡社新書 1030)

飯田 一史 著

平凡社

この20年間で小中学生の平均読書冊数はV字回復したが、「若者は本を読まない」と当たり前のよう語られている。各種データから中高生のニーズや人気の本の型を提示し、若者の読書についての思い込みを打ち破る。

2023:6./ 262p
978-4-582-86030-6

¥1,078〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02



タイタニックを引き揚げろ<上>(扶桑社ミステリー カ 11-37)

クライブ・カッスラー 著
扶桑社

敵国のミサイル攻撃を無効化するアメリカの最新型防衛網の完成に不可欠なビザニウム鉱石の調査のため、ソ連を訪れた科学者コプリン。巡回兵の銃撃にあった彼を、国立海海洋機関のエージェント、ダーク・ビットが救い出し…。

日本経済新聞 2023/09/02

2020:8./ 342p
978-4-594-08570-4

¥990〔税込〕



タイタニックを引き揚げろ<下>(扶桑社ミステリー カ 11-38)

クライブ・カッスラー 著
扶桑社

ビットたちはソ連から持ち出されたビザニウム鉱石が、タイタニック号に積みこまれていたという情報を掴む。彼らは伝説の沈船を発見するが、ソ連工作員の暗躍による殺人や事故に見舞われ、引き揚げ作業は困難を極め…。

日本経済新聞 2023/09/02

2020:8./ 338p
978-4-594-08571-1

¥990〔税込〕



中井久夫 人と仕事

最相葉月 著
みすず書房

患者とは考え、考え、考えている者である-。われわれの世界に数々の知恵と言葉とヒントを遺していった精神科医・中井久夫。1960年代の精神科医誕生の前後からその死までを軸に、中井の生涯と仕事を追う。

日本経済新聞 2023/09/02

2023:8./ 233p
978-4-622-09603-0

¥2,860〔税込〕



疫病の古代史～天災、人災、そして～(歴史文化ライブラリー 573)

本庄 総子 著
吉川弘文館

古代の疫病は、単なる自然災害だったのか。日本古代の疫病が、その時代相との関連のなかで、どのように発生し、対処され、変化していったのかを考察。数々の事例から、当時の社会が抱える問題を明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/02

2023:8./ 5p,205p
978-4-642-05973-2

¥1,870〔税込〕



マクスウェルのリーダーシップ集中講義

ジョン・C.マクスウェル 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

リーダーシップについて最低限、押さえておくべき重要な点を網羅した一冊。リーダーシップを定義し、すべてのリーダーが伸ばすべき共通の資質と、リーダーシップが人々に与える影響の大きさを解説する。

日本経済新聞 2023/09/02

2013:2./ 190p
978-4-7993-1286-5

¥1,540〔税込〕





黄金蝶を追って(竹書房文庫 あ 13-1)

相川 英輔 著

竹書房

魔法の鉛筆、奇妙な同居人、第8の曜日、ノストラダムスの大予言…。美しい不思議、きらめく日常。表題作ほか、海外で高い評価を受けた「ハミングバード」など全6篇を収録した短篇集。

日本経済新聞 2023/09/02

2023:8./ 254p
978-4-8019-3635-5

¥990〔税込〕



化学者たちの京都学派～喜多源逸と日本の化学～

古川 安 著

京都大学学術出版会

喜多源逸と京都学派の形成とその展開の様相を、おおよそ1910年代から1960年代までたどり、京都大学工学部を舞台に織りなされた化学者たちの群像を描く。科学史の興味深いサブテーマも満載。

日本経済新聞 2023/09/02

2017:12./ 3p,334p
978-4-8140-0122-4

¥3,960〔税込〕



エネルギーをめぐる旅～文明の歴史と私たちの未来～

古舘恒介 著

英治出版

資本主義、食料、気候変動…。エネルギーがわかると、世界がわかる。火の利用から気候変動対策まで、エネルギーと人類の歴史を辿り、現代社会が陥った問題の本質と未来への道筋を描き出す。これから生きる人のための教養書。

日本経済新聞 2023/09/02

2021:8./ 412p
978-4-86276-309-9

¥2,640〔税込〕



ニューヨークでジャズ・ギタリストとして生きるために、ぼくが実践してきたシンプルなルール

高免 信喜 著

アルテスパブリッシング

単身渡米して20年。米国の有名ジャズ誌から「日本が輩出した最高のジャズ・ギタリスト」とよばれる著者が、ギターと音楽をとおして学んできた、自分らしい人生を送るためのヒントを紹介する。メルマガ連載を書籍化。

日本経済新聞 2023/09/02

2023:7./ 223p,11p
978-4-86559-277-1

¥2,090〔税込〕



ラジオと戦争～放送人たちの「報国」～

大森 淳郎／NHK放送文化研究所 著

NHK出版

長期にわたる取材と膨大な資料渉猟から、アジア・太平洋戦争に直面した放送人たちの矜持や高揚、困惑や懊悩、才智や創意、諦念を克明に迫り、戦時下ラジオの責任に真正面から向き合う。『放送研究と調査』掲載を加筆・修正。

日本経済新聞 2023/09/02、朝日新聞 2023/09/09

2023:6./ 573p
978-4-14-081940-1

¥3,960〔税込〕





きしむ政治と科学～コロナ禍、尾身茂氏との対話～

牧原出／坂上博 著

中央公論新社

尾身茂・新型コロナウイルス感染症対策分科会長への計 12 回、24 時間を超える問答から、政治と科学をめぐる深刻な問題をあぶり出す。『中央公論』掲載記事ほかインタビューをもとに単行本化。

2023:7./ 293p
978-4-12-005677-2

¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02、朝日新聞 2023/09/09、読売新聞 2023/09/17



鉄道と愛国～中国・アジア 3 万キロを列車で旅して考えた～

吉岡 桂子 著

岩波書店

鉄道は自国の権益を押し広げるナショナリズムの道なのか、平和の道として人をつなぎモノを運ぶのか。新幹線輸出の舞台裏を取材してきた記者が、日本と中国の高速鉄道をめぐる動きを検証し、鉄道を走らせる各国の思惑を伝える。

2023:7./ 13p,293p
978-4-00-061603-4

¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02、読売新聞 2023/09/24、朝日新聞 2023/09/30



イラク水滸伝

高野 秀行 著

文藝春秋

「水滸伝」しながら権力に抗うアウトローや迫害されたマイノリティが逃げ込むイラクの謎の巨大湿地帯<アフワール>とは? “現代最後のカオス”に挑んだノンフィクション。『オール讀物』連載を加筆・修正して単行本化。

2023:7./ 477p 図版 12p
978-4-16-391729-0

¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/02、毎日新聞 2023/09/09



女性不況サバイバル(岩波新書 新赤版 1981)

竹信 三恵子 著

岩波書店

コロナ禍の下、ケアの労働を担う女性たちの雇用危機はいかに無いことにされ、放置されてきたのか。社会に埋め込まれた「不可視化と沈黙」を生み出す「6 つの仕掛け」を丹念に浮き彫りにし、当事者たちの懸命の模索をたどる。

2023:7./ 6p,258p,4p
978-4-00-431981-8

¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/09



トヨタのEV戦争～EV を制した国が、世界の経済を支配する～

中西 孝樹 著

講談社

日本経済の浮沈をかけた米・欧・中との EV 覇権争い。正解の見えない戦いに、トヨタはどう立ち向かうのか? 自動車業界 No.1 アナリストが、その真実をダイナミックに精緻に描き出す。

2023:7./ 350p
978-4-06-533025-8

¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/09/09



人生で大切なことは、ほぼほぼ子どもが教えてくれた。(集英社文庫 お 92-1)

おおたとしまさ 著

集英社

子どもが抱きついてきてくれる期間は意外と短い。育児・教育ジャーナリストが、自身の子育て体験をつづる育児エッセイ。10代になった子どもたちへのメッセージなどを加えて文庫化。親子のふれあいアイデアが満載。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:8./ 414p
978-4-08-744563-3

¥946〔税込〕



EV ショック～ガラパゴス化する自動車王国ニッポン～(小学館新書 445)

高橋 優 著

小学館

内燃機関車から電気自動車への移行「EV シフト」が、世界で急進行している中、EV 普及率わずか 1%の日本。ガラパゴス化する日本の課題と世界の現状をわかりやすく解説する。2023 年オススメ EV の選び方も収録。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:2./ 189p
978-4-09-825445-3

¥990〔税込〕



ちょっと不運なほうが生活は楽しい

田中 卓志 著

新潮社

どこかの優しい誰かが読んでくれたら…。人気芸人「アンガールズ」田中卓志が、クスリと笑えて妙に共感できる悲喜こもごもの日常を綴った初エッセイ集。『小説新潮』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:8./ 217p
978-4-10-355281-9

¥1,595〔税込〕



月は静かに

丸山 健二 著

新潮社

たとえこの世が地獄でも、この庭さえあればいい。怒りと悲しみの風に吹かれて不毛の大地に流れ着き、500 坪の楽園造りに没頭する男 K。彼の心の風穴を埋めるのは果たして白いバラか。それとも赤い銃弾か。生死の根源を問う。

日本経済新聞 2023/09/09

2002:12./ 541p
978-4-10-419204-5

¥2,640〔税込〕



台湾動物記～知られざる哺乳類の世界～

押田 龍夫 著

東京大学出版会

ムササビを追って台湾へ。豊かな自然は、哺乳類の進化をめぐる秘密の宝庫だった! 台湾で野生動物を追いかけた著者が、不思議で美しい動物たちの知られざる世界に迫る。写真も掲載。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:6./ 5p,144p,8p
978-4-13-063380-2

¥3,520〔税込〕





マリエ

千早 茜 著

文藝春秋

コロナ禍下、40歳を前に離婚した桐原まりえは、些細なきっかけと少しの興味から結婚相談所に登録する。そこで見聞きする世界は思いもよらないもので…。おとなの女性の幸福と結婚を巡る物語。『オール讀物』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:8./ 242p
978-4-16-391740-5

¥1,870〔税込〕



モビリティ X〜シリコンバレーで見た 2030 年の自動車産業〜

木村将之／森 俊彦／下田裕和 著

日経 B P 社

モビリティ産業の究極の変革を「モビリティ X(=真の DX と SX、異業種融合)」と定義して紹介。日本の基幹産業である自動車産業・モビリティ産業が今後も世界を席巻し続けるために必要な要素について解説する。

日本経済新聞 2023/09/09

2022:12./ 231p
978-4-296-20120-4

¥1,980〔税込〕



減ぼす<上>

ミシェル・ウエルベック 著

河出書房新社

2027 年のフランス大統領選を前に、謎のテロ組織が暗躍するなか、経済・財務大臣秘書官のポールは、妻との関係に回復の兆しを見出す。やがて現大統領の肝煎りで、テレビの人気タレント、サルファティが立候補し…。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 308p
978-4-309-20887-9

¥2,420〔税込〕



減ぼす<下>

ミシェル・ウエルベック 著

河出書房新社

情報部で活躍した父のファイルには、謎のテロリストの犯行声明が保存されていた。経済・財務大臣の秘書官ポールの家族は、要介護高齢者施設で病状を悪化させる父を救出するため極右団体の力を借りて…。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 341p
978-4-309-20888-6

¥2,585〔税込〕



日本語はしたたかで奥が深い〜くせ者の言語と出会った<外国人>の系譜〜

河路 由佳 著

研究社

外交、布教、商業、勉学、戦争など、日本語とさまざまな出会いをした外国人にスポットをあて、彼らのドラマを時系列に沿って丹念に紹介。また、彼らの日本語が何をもたらしたのか、文学表現を中心にたどる。図版も多数掲載。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 13p,368p
978-4-327-37751-9

¥3,520〔税込〕





民間企業からの震災復興～関東大震災を経済視点で読みなおす～(ちくま新書 1743)

木村 昌人 著

筑摩書房

関東大震災で壊滅した帝都。その復興を後押しした企業の英断とは。帝国ホテル、三菱、小田急電鉄など、経済活動の担い手である実業家・企業・財界の視点と活動に注目し、大震災からの復興過程を考察する。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:8./ 316p
978-4-480-07572-7

¥1,100〔税込〕



励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<上>

伊藤 憲二 著

みすず書房

今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 586p
978-4-622-09618-4

¥5,940〔税込〕



励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<下>

伊藤 憲二 著

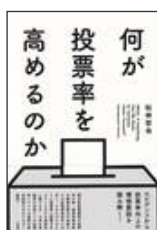
みすず書房

今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 674p
978-4-622-09619-1

¥6,600〔税込〕



何が投票率を高めるのか

松林 哲也 著

有斐閣

選挙は日本で頻繁に実施されているが、投票率は低調である。期日前投票期間や投票所の数、選挙啓発活動や議員定数の不均衡などの投票環境条件に注目し、それらがどのように投票率に影響を与えているのかを実証的に論じる。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:8./ 6p,200p
978-4-641-14947-2

¥2,310〔税込〕



イノベーションのジレンマ～技術革新が巨大企業を滅ぼすとき～ 増補改訂版(Harvard business school press)

クレイトン・クリステンセン、玉田 俊平太、伊豆原 弓 著

翔泳社

業界を支配する巨大企業が、その優れた企業戦略ゆえに減んでいくジレンマの図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対して、経営者はどう対処すべきかを解説する。2000年刊の増補改訂版。

日本経済新聞 2023/09/09

2001:7./ 327p
978-4-7981-0023-4

¥2,200〔税込〕





「生きている」とはどういうことか～生命の境界領域に挑む科学者たち～

カール・ジンマー 著

白揚社

なぜ生命はいまだに定義できないのか。生物と無生物を分かつものは何なのか。現代屈指のサイエンスライターが、生命研究の歴史をひもとき、現在進行中の最先端の現場を探訪し、「生命とは何か?」という人類最大の難問に迫る。

日本経済新聞 2023/09/09

2023:7./ 414p
978-4-8269-0250-2

¥3,410〔税込〕



読書バリアフリーの世界～大活字本と電子書籍の普及と活用～

野口武悟 著

三和書籍

障害や年齢に関わらず、誰もが本を読むのに困らない社会を実現するためには。大活字本を中心に、読書バリアフリーの環境を整えるための取り組みや、これから必要なことを紹介する。

日本經濟新聞 2023/09/09

2023:7./ 13p,136p
978-4-86251-509-4

¥2,200〔税込〕



読書バリアフリー～見つけよう!自分にあった読書のカタチ～

讀書工房 著

国土社

読書バリアフリーは合理的配慮の一つ。点字つきさわる絵本、大きな文字の本、オーディオブックなど、さまざまなバリアフリー図書や、「読みやすさ」「わかりやすさ」をつくるための道具・くふうを紹介します。

日本經濟新聞 2023/09/09、朝日新聞 2023/09/16

2023:7./ 79p
978-4-337-28950-5

¥3.850〔税込〕



ラウリ・クースクを探して

宮内悠介 著

朝日新聞出版

ソ連時代のエストニアに生まれたラウリは、黎明期のコンピュータ・プログラミングで稀有な才能をみせ、魂の親友と呼べるロシア人のイヴァンと出会う。だが二人は時代の波に翻弄され…。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

日本經濟新聞 2023/09/09、朝日新聞 2023/09/30

2023:8./ 236p
978-4-02-251926-9

¥1,760〔税込〕



新・金融政策入門(岩波新書 新赤版 1980)

湯本 雅十 著

岩波書店

日銀史上最長の黒田日銀から新レジームへの移行は可能か。基礎編では金融政策とは何か、その波及過程、財政・為替政策との関係等を丁寧に説明。政策編ではFRB、日銀など世界の中央銀行の政策運営の変遷を解説、吟味する。

日本經濟新聞 2023/09/16

2023:7./ 286p
978-4-00-431980-1

¥1,056〔税込〕





一日一生(朝日新書)

酒井 雄哉 著

朝日新聞出版

「大丈夫、明日はまた、新しい人生が生まれてくるから」なぜ生きるのか、苦しみや死をどう受け止めたら良いのか。人生に迷い悩む人におくる、現代の“生き仏”酒井雄哉・大阿闍梨の慈雨の言葉集。

日本経済新聞 2023/09/16

2008:10./ 187p
978-4-02-273238-5

¥770〔税込〕



変愛小説集(講談社文庫 き 65-1)

岸本 佐知子 編

講談社

普通の恋愛小説の基準からはかなりはずれた、グロテスクだったり極端だったり変てこだったりする物語の数々。現代の英米文学のなかから、アリ・スミス、レイ・ヴクサヴィッチなどによる、愛にまつわる物語 11 篇を収録する。

日本経済新聞 2023/09/16

2014:10./ 291p
978-4-06-277907-4

¥935〔税込〕



戦国日本を見た中国人～海の世界『日本一鑑』を読む～(講談社選書メチエ 788)

上田 信 著

講談社

日中関係が緊迫していた 16 世紀なかば、来日した明の鄭舜功は庶民の生活習慣から日本刀の精神性、男女の人口比まで、公平に観察し「日本一鑑」を著した。そのルポルタージュから、当時の日本人の姿や感性を読み解く。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:7./ 245p
978-4-06-532574-2

¥1,870〔税込〕



ぼくたちがコロナを知らなかったころ(集英社文庫 よ 23-7)

吉田 修一 著

集英社

上海、祇園、ハワイ、ニューヨーク、長崎、台湾。時はまさにコロナ前夜。自由に旅をして現地の人びとと交流ができることは、なんと貴重で尊いのだろう…。『翼の王国』連載エッセイに「拝啓金ちゃん銀ちゃん」を加えて文庫化。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:8./ 174p
978-4-08-744557-2

¥660〔税込〕



獲る食べる生きる～狩猟と先住民から学ぶ“いのち”の巡り～

黒田 未来雄 著

小学館

NHK 自然番組ディレクターだった著者は、カナダの先住民を訪ねた。人間がこれからの地球で生き続けるための知恵=先住民の思想と生き方に魅せられた著者が、NHK を退職して「猟師」になるまでの軌跡を綴る。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:8./ 251p
978-4-09-389120-2

¥1,870〔税込〕





目的への抵抗～シリーズ哲学講話～(新潮新書 991)

國分 功一郎 著

新潮社

消費と贅沢、自由と目的、行政権力と民主主義の相克など、コロナ危機に覚えた違和感の正体に迫り、現代社会における哲学の役割を問う。「暇と退屈の倫理学」をより深化させた革新的論考。東京大学での講和を収録する。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:4./ 206p
978-4-10-610991-1

¥858〔税込〕



あなたの人生の意味<上>(ハヤカワ文庫 NF 526)

デイヴィッド・ブルックス、夏目 大 著

早川書房

『ニューヨーク・タイムズ』の名コラムニストが、アイゼンハワーからマーシャルまで、偉大な足跡を残した先人たちの生涯を通じて、現代人が忘れていた内的成熟の価値と「生きる意味」を根源から問い直す。

日本経済新聞 2023/09/16

2018:7./ 288p
978-4-15-050526-4

¥902〔税込〕



あなたの人生の意味<下>(ハヤカワ文庫 NF 527)

デイヴィッド・ブルックス、夏目 大 著

早川書房

キング牧師を陰で支え、公民権運動を共に闘い抜いたランドルフとラスティン、困難な愛を名作へと昇華させたジョージ・エリオット…。偉大な足跡を残した先人たちの生涯を通じて、「生きる意味」を問い直す。

日本経済新聞 2023/09/16

2018:7./ 318p
978-4-15-050527-1

¥902〔税込〕



なぜ今、仏教なのか～瞑想・マインドフルネス・悟りの科学～(ハヤカワ文庫 NF 562)

ロバート・ライト 著

早川書房

妄想ととらわれの人生か、洞察と自由の人生か。錯覚を振り払い、よりよく生きるすべを求めて瞑想合宿に参加した科学ジャーナリストが、「マインドフルネス」の驚くべき効能と、ブッダの奥深い教えを明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/16

2020:8./ 484p
978-4-15-050562-2

¥1,188〔税込〕



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。ある時、奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが……。

日本経済新聞 2023/09/16

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3

¥990〔税込〕





わたしたちが光の速さで進めないなら

キム・チョヨブ 著

早川書房

行方不明になって数十年後、宇宙から帰ってきた祖母が語る、異星人とのかけがえのない日々…。「スペクトラム」をはじめ、「感情の物性」「館内紛失」など、優しく、どこか懐かしい、心の片隅に残り続ける SF 短篇 7 篇を収録。

日本経済新聞 2023/09/16

2020:12./ 300p
978-4-15-209986-0

¥1,980〔税込〕



千個の青

チョン・ソンラン 著

早川書房

小児麻痺で車椅子に乗る 17 歳のウネと、ロボット研究者の夢に挫折した 15 歳のヨンジェ。深い諦念を抱える姉妹は、たった千個の単語しか知らないロボットのコリーによる、素直で率直な意見に心を動かされて…。

日本経済新聞 2023/09/16

2021:10./ 351p
978-4-15-210056-6

¥2,200〔税込〕



地球の果ての温室で

キム・チョヨブ 著

早川書房

動植物が死に絶える大厄災から 60 年。謎の蔓草を調査する生態学者のアヨンは、世界を復興させたとされる女性の 1 人、ナオミにたどり着く。幼い姉妹アマラとナオミ、謎の女性ジスとレイチェル。ナオミが語りだした物語とは…。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:1./ 382p
978-4-15-210201-0

¥2,200〔税込〕



グレート・サークル

マギー・シプステッド 著

早川書房

1950 年、地球一周飛行挑戦中に消息を絶った女性飛行士。2014 年、その飛行士役を演じるようになったハリウッド女優。残された航空日誌が 2 つの人生の円を繋ぎ…。壮大な時間と場所をめぐるパラレル・ストーリー。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:8./ 826p
978-4-15-210262-1

¥4,070〔税込〕



されどわれらが日々(文春文庫)

柴田 翔 著

文芸春秋

何一つ確かなものもない時代を懸命に生きようとした二人の男女を描き、60 年代～70 年代にヒットした青春文学の大ベストセラー

日本経済新聞 2023/09/16

2007:11./ 269p
978-4-16-710205-0

¥704〔税込〕





脳科学は人格を変えられるか?(文春文庫 S21-1)

エレヌ・フォックス 著

文藝春秋

なぜ前向きな性格と後ろ向きな性格があるのだろうか? 認知心理学と神経科学、遺伝学を組み合わせた先端的な研究を行う著者が、楽観的な人々と悲観的な人々のさまざまな経験を例に引きながら、人格形成の神秘を明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/16

2017:8./ 397p
978-4-16-790898-0

¥1,045〔税込〕



タワー

ペ・ミョンフン 著

河出書房新社

674 階建巨大タワー国家。地上からの脅威が迫り、下層階を軍隊、上層階を富裕層が占める<ビースターク>の人々は、不完全で、優しい。韓国 SF の金字塔にして、笑いと涙の摩天楼エンタテインメント。

日本経済新聞 2023/09/16

2022:9./ 327p
978-4-309-20865-7

¥2,420〔税込〕



どれほど似ているか

キム・ボヨン 著

河出書房新社

衛星の避難民を救う任務を追う宇宙船で、人間の姿で目覚めた AI の「私」。人間とは何か。機械に感情はあるか。繋がり可能性を追求する決死の旅に…。表題作をはじめ全 10 編を収めた韓国 SF トップランナーの決定版作品集。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:5./ 370p
978-4-309-20883-1

¥2,530〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカではそばそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/16

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2

¥2,090〔税込〕



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか? その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/16

2016:9./ 294p
978-4-309-22672-9

¥2,090〔税込〕





フロッグマン戦記～第2次世界大戦米軍水中破壊工作部隊～

アンドリュー・ダビンズ 著

河出書房新社

最強の特殊工作部隊、ネイビーシールズはここから誕生した! ルマンディール上陸作戦、硫黄島、沖縄線などの激戦地で破壊工作を繰り返した米軍極秘部隊 UDT の知られざる死闘を、生存者の貴重な証言で明らかにする。

日本経済新聞 2023/09/16

2023.7./ 397p
978-4-309-22891-4

¥3,960〔税込〕



恋愛結婚の終焉(光文社新書 1274)

牛窪恵 著

光文社

恋人は欲しくない、恋愛は面倒、でも、いずれは結婚したいと考える若者たち。改善されない未婚化と少子化の真の原因はどこにあるのか。「結婚には恋愛が必要だ」とする常識から脱却し、「共創結婚」の重要性を検証・提案する。

日本経済新聞 2023/09/16

2023.9./ 294p
978-4-334-10068-1

¥1,034〔税込〕



それでも人生にイエスと言う

ヴィクトル・エミール・フランクル 著

春秋社

日本経済新聞 2023/09/16

1993.12./ 218p
978-4-393-36360-7

¥1,870〔税込〕



ヒロインはいつも泣いている～「女だから」悩む歌舞伎の女性たち～

関亜弓 著

淡交社

パワハラ、セクハラ、ジェンダー差別、ルッキズム、子育ての悩み…。歌舞伎のヒロインたちはやっぱり平気じゃない! 現代人と変わらない苦悩を抱える彼女たちに寄り添う、歌舞伎の女性キャラクター解説本。

日本経済新聞 2023/09/16

2023.8./ 263p
978-4-473-04561-4

¥1,760〔税込〕



無人島、研究と冒険、半分半分。

川上 和人 著

東京書籍

本州から南に約 1200km の位置にある絶海の孤島、南硫黄島。原生の生態系が残る奇跡の島に、特別なミッションを受けて挑む鳥類学者たちの姿を、臨場感あふれる筆致で描く。

日本経済新聞 2023/09/16

2023.9./ 311p
978-4-487-81714-6

¥1,760〔税込〕





二十世紀のクラシック音楽を取り戻す～三度の戦争は音楽に何をしたか～

ジョン・マウチェリ 著

白水社

オーケストラや歌劇場の主要なレパートリーに、いま「現代」の作品がないのはなぜか。政治的な事情で埋もれてしまった作曲家から、映画音楽やミュージカル、ゲーム音楽作家まで含めて、指揮者が語る二十世紀の音楽史の裏側。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:7./ 319p,23p
978-4-560-09362-7

¥4,180〔税込〕



夜と霧 新版

ヴィクトール・E.フランクフル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

日本経済新聞 2023/09/16

2002:11./ 169p
978-4-622-03970-9

¥1,650〔税込〕



エルドアンが変えたトルコ～長期政権の力学～

間 寧 著

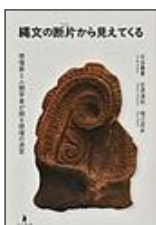
作品社

BRICS の次、「NEXT11」として注目を集める新興国トルコの躍進を実現したエルドアン。その政権維持の政治戦術を、現代トルコ研究の第一人者が、20 年以上の現地調査とデータ分析に基づき解き明かす。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:6./ 298p,20p
978-4-86182-972-7

¥2,970〔税込〕



縄文の断片から見えてくる～修復家と人類学者が探る修復の迷宮～

古谷 嘉章／石原 道知／堀江 武史 著

古小鳥舎

土の中から破片が発掘され、修復され、展示されるまでには、いくつもの厄介な問題が存在する。欠損の意味、修復箇所の判別、復元してわかること見えなくなるもの…。考古遺物・考古学に潜む迷宮を人類学者と修復家が探究する。

日本経済新聞 2023/09/16

2023:8./ 243p
978-4-910036-04-5

¥2,200〔税込〕



ヒトラーの馬を奪還せよ～美術探偵、ナチ地下世界を往く～

アルテュール・ブランド／安原 和見 著

筑摩書房

戦火で失われたはずのヒトラーゆかりの逸品が、70 年の時をへて闇市場に現れた。本物か贋作か？ 黒幕は何者か？ 暗躍するナチ残党との息詰まる駆け引きを描くノンフィクション。

日本経済新聞 2023/09/16、産経新聞 2023/09/24

2023:7./ 303p
978-4-480-83724-0

¥2,640〔税込〕





街路樹が都市をつくる～東京五輪マラソンコースを歩いて～

藤井 英二郎 著

岩波書店

「緑の日傘」が大きくなると、人も、街も、笑顔になる。長年にわたって国内外の街路樹を見守り続けた著者が、2020年東京五輪のマラソンコースをはじめ、都市の木々を見るポイント、その本当の魅力をわかりやすく解説。

日本経済新聞 2023/09/23

2019:4./ 6p,192p 図版

14p

978-4-00-061337-8

¥1,870〔税込〕



9 78 4 00 06 1337 8



特捜検察の正体(講談社現代新書 2713)

弘中 惇一郎 著

講談社

日本最強の捜査機関、特捜検察。村木厚子、角川歴彦、カルロス・ゴーンらの弁護を担当してきた無罪請負人が、その危険な20の手口を明かす。特捜検察が抱える構造的な問題、一般市民が事件に巻き込まれた時の防御策も解説。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 286p

978-4-06-530877-6

¥1,100〔税込〕



9 78 4 06 5308 77 6



日本で軍事を語るといこと～軍事分析入門～

高橋杉雄 著

中央公論新社

ウクライナ侵攻が露わにした大国間大戦争時代の到来。中国の軍事力の近代化、北朝鮮の核・ミサイル開発。日本の安全保障環境が厳しさを増す中、日本は戦えるのか。抑止力を強化し、戦争を防ぐために必要な軍事知識を説く。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 285p

978-4-12-005679-6

¥1,925〔税込〕



9 78 4 12 00 56 79 6



ゼロからの『資本論』(NHK出版新書 690)

斎藤 幸平 著

NHK出版

マルクスの手稿研究で見出した「物質代謝」の観点から「資本論」のエッセンスを丁寧に解説。さらに、ソ連や中国とも異なる「脱成長コミュニズム」の未来像までを見通す。「NHK100分de名著」のテキストに加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:1./ 237p

978-4-14-088690-8

¥1,023〔税込〕



9 78 4 14 08 86 90 8



わたしを離さないで(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著

早川書房

優秀な介護人キャシー・Hは「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘルシヤムの親友トミーやルースも「提供者」だった。キャシーは施設での奇妙な日々を思いをめぐらす。

日本経済新聞 2023/09/23

2008:8./ 450p

978-4-15-120051-9

¥1,078〔税込〕



9 78 4 15 12 00 51 9



グローバル・バリューチェーンの地政学

猪俣哲史 著

日経BP社

複雑に張りめぐらされた国際分業ネットワークを、付加価値という視点から読み解くグローバル・バリューチェーン分析。最新のデータをもとに、米中対立を中心とする近年の経済対立、経済安全保障問題を見通す。

日本経済新聞 2023/09/23

2023.7./ 202p
978-4-296-11439-9

¥2,640〔税込〕



見ること

ジョゼ・サラマーゴ 著

河出書房新社

突然目が見えなくなる感染症が流行した4年後、同じ国の首都の総選挙で大量の白票が投じられる。政府は非常事態宣言を発し、首都を封鎖する。政府組織が市外に脱出する一方、首都では市民たちの自治が始まるが....。

日本経済新聞 2023/09/23

2023.7./ 300p
978-4-309-20886-2

¥3,520〔税込〕



日本のコミュニケーションを診る～遠慮・建前・気疲れ社会～(光文社新書 1272)

パントー・フランチェスコ 著

光文社

なぜ周りに流されてしまうのか。なぜ人の弱さを認められないのか。なぜ「勝ち組/負け組」という考え方をするのか。イタリア人精神科医が、日本社会の独特なコミュニケーションによって心身を害する危険性に警鐘を鳴らす。

日本経済新聞 2023/09/23

2023.9./ 202p
978-4-334-10066-7

¥946〔税込〕



村でいちばんの首吊りの木(実業之日本社文庫 つ5-4)

辻 真先 著

実業之日本社

手首が切断された女の死体を残して長男が失踪。息子の無実を訴える母と、大学受験を控えた次男との間で交わされる手紙が、やがて驚愕の真実を浮き彫りに...。表題作など3編を収録。小説家・阿津川辰海との対談も掲載する。

日本経済新聞 2023/09/23

2023.8./ 220p
978-4-408-55820-2

¥737〔税込〕



10代の脳とうまくつきあう～非認知能力の大事な役割～(ちくまプリマー新書 433)

森口 佑介 著

筑摩書房

すぐ諦めるのをやめたい、自分に自信が持てず苦しい...。発達途中の不安定な脳をコントロールするには、学力以外の能力が重要。大人になったときの幸福度と関連し、10代にとっても大切な「非認知能力」について解説する。

日本経済新聞 2023/09/23

2023.8./ 205p
978-4-480-68458-5

¥946〔税込〕





科学技術の軍事利用～人工知能兵器、兵士の強化改造、人体実験の是非を問う～(平凡社新書 1032)

棚島 次郎 著

平凡社

古今東西、つねに不可分のものとして発展してきた科学・技術と軍事開発。「軍民両用」ははたしてどこまで許されるべきなのか。科学・技術と軍事の結びつきの歴史をたどり、最先端の課題を生命倫理の第一人者と考える。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 207p
978-4-582-86032-0

¥1,034〔税込〕



上杉慎吉～国家は最高の道徳なり～(ミネルヴァ日本評伝選)

今野 元 著

ミネルヴァ書房

天皇主権説を唱え、日本の主体性を見据えた憲法学者・上杉慎吉。ドイツ史家の著者が、上杉の欧米社会との交流、中国旅行・欧米旅行を分析し、日本の主体性追求の煩悶を、上杉後継者や安倍晋三まで振り返る。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:9./ 384p
978-4-623-09622-0

¥3,850〔税込〕



オームステッド セントラルパークをつくった男～時を経て明らかになる公共空間の価値～

ヴィートールド・リプチンスキー 著

学芸出版社

人々を自然の力で癒し、元気づける公園を生んだ“ランドスケープの父”オームステッド。船員見習い、農場経営、奴隷解放のジャーナリストなど職を転々とした後、セントラルパークをつくりあげたその生涯と哲学を紹介する。

日本経済新聞 2023/09/23

2022:12./ 527p,48p
978-4-7615-4097-5

¥5,280〔税込〕



料理と人生

マリーズ・コンデ、大辻 都 著

左右社

女中たちから料理を教わる台所が隠れ家だった娘時代、ギニア・ガーナ・セネガルで出会ったアフリカの味、世界中を飛び回る日々知った東京のヤキトリ、マグレブのタジン鍋…。世界的黒人女性作家の最後の自伝的回想録。

日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 302p
978-4-86528-377-8

¥4,180〔税込〕



リスクリング超入門～DX より重要なビジネスパーソンの「戦略的学び直し」～

徳岡 晃一郎／房 広治 著

KADOKAWA

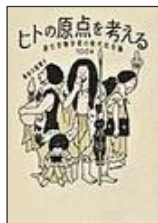
習得スキルを絞り込めば、「キャリアの選択肢」が広がる! 「4つのS」(シナリオ、スピード、サイエンス、セキュリティ)の習得を軸に、人生100年時代を賢く、豊かに生き抜く方法を解説する。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:2./ 261p
978-4-04-606105-8

¥1,760〔税込〕





ヒトの原点を考える～進化生物学者の現代社会論 100 話～

長谷川 眞理子 著

東京大学出版会

ホモ・サピエンスは、生物としては 20 万年前からほとんど進化していない。現代社会の中で人間にとって本当に幸せな社会を作るにはどうしたらよいのかを、人類進化史の観点から考える。『財界』連載を再構成、改稿し単行本化。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:7./ 8p,228p
978-4-13-063382-6

¥2,420〔税込〕



ここがホームシック・レストラン(文春文庫)

アン・タイラー 著

文芸春秋

日本経済新聞 2023/09/30

1998:12./ 477p
978-4-16-721853-9

¥827〔税込〕



レシート探訪～1 枚にみる小さな生活史～(COMODO LIFE BOOK)

藤沢 あかり 著

技術評論社

店名や日付、品名、金額が書かれた一枚の紙切れに一人ひとりの暮らし、そして人となりが見えてくる。26 人のレシートを見せてもらい、そこに隠れた話を聞いたレシート探訪。『北欧、暮らしの道具店』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:6./ 255p
978-4-297-13531-7

¥1,760〔税込〕



リスクリングは経営課題～日本企業の「学びとキャリア」考～(光文社新書 1245)

小林祐児 著

光文社

急速に取り組みが進む、知識やスキルの学び直し「リスクリング」を阻む、日本企業特有の構造とは何か。幅広い調査データや学術知見を基に、日本企業がリスクリングを通じて生まれ変わる方法を提言する。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:3./ 331p
978-4-334-04652-1

¥1,012〔税込〕



自分のために料理を作る～自炊からはじまる「ケア」の話～

山口祐加／星野概念 著

晶文社

誰かのためにだったら作れるけれど、自分のために料理ができない。そんな 6 人を著者が 3 カ月間「自炊コーチ」し、精神科医と共に気持ちの変化や発見についてインタビューし、自炊の効用を探る。レシピも収録。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 358p
978-4-7949-7378-8

¥1,870〔税込〕





リスキリング<実践編> 新しいスキルで自分の未来を創る

後藤 宗明 著

日本能率協会マネジメントセンター

リスキリング実践の流れに乗り遅れるな! 日本におけるリスキリングの現状と全体像を示し、「マインドセット」「学習」「スキル」「職業(キャリア)」といった4つの実践ポイントについて解説する。

日本経済新聞 2023/09/30

2023:9./ 316p

978-4-8005-9140-1

¥2,035〔税込〕



9 784800 591401



ゴリラ裁判の日

須藤 古都離 著

講談社

ローズはとても賢く、言葉を理解し人間と「会話」ができるゴリラだ。人間の子供を助けるために、という理由で、夫ゴリラが射殺される。そしてローズは、人間に戦いを挑む。力ではなく、知恵と勇気を武器に。法廷で。

毎日新聞 2023/09/02

2023:3./ 329p

978-4-06-531009-0

¥1,925〔税込〕



9 784065 310090



賢治と「星」を見る

渡部 潤一 著

NHK出版

宮沢賢治は当時最新の天文学にどのように触れていたのか。彼の思想は、詩や童話に描かれた天体にどう反映されているのか。天文学者の目を通して賢治作品を読む。NHK『コズミックフロント』ホームページ掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/09/02

2023:8./ 253p

978-4-14-081944-9

¥1,815〔税込〕



9 784140 819449



ジュリーがいた〜沢田研二、56年の光芒〜

島崎 今日子 著

文藝春秋

ザ・タイガースの熱狂、ショーケンとの友愛、ヒットチャートから遠ざかりながらも歌い続けた25年間…。共に「沢田研二」を創り上げた69人の証言で織りなすノンフィクション。『週刊文春』人気連載に大幅加筆。

毎日新聞 2023/09/02

2023:6./ 381p

978-4-16-391708-5

¥1,980〔税込〕



9 784163 917085



ぼくが選ぶぼくのいる場所

吉富 多美 著

金の星社

小学5年生のつむぎは依存症の母が連れてきた男から、虐待を受けるようになる。母のために耐えるつむぎだったが、転校先の友人達との関わりで、自分のいる環境が本来子どものいるべきものでないことに気づいていき…。

毎日新聞 2023/09/02

2023:7./ 253p

978-4-323-06340-9

¥1,540〔税込〕



9 784323 063409



桜桃(ハルキ文庫 た 21-1)

太宰 治 著

角川春樹事務所

毎日新聞 2023/09/02

2011:4./ 124p

978-4-7584-3547-5

¥293〔税込〕



ふつうの相談

東畑 開人 著

金剛出版

人が人を支えるとはどういうことか。心の回復はいかにして可能になるか。日々の友人関係からサイコセラピーの治療関係まで、対人支援としての「ふつうの相談」を解き明かす。補遺「中断十カ条-若き心理士への手紙」を収録。

2023:8./ 204p

978-4-7724-1983-3

¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2023/09/02



柳家さん喬「笑い」の流儀

柳家さん喬 著

ビジネス社

落語ではなく剣道の稽古で教わった「間」、師匠の落とし噺に表れる「人情」、最終的な演出家はお客様…。江戸落語の第一人者が極上の仕事論を明かす。落語の速記録、「新作落語作者から見た柳家さん喬師匠」なども収録。

2023:8./ 271p

978-4-8284-2518-4

¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2023/09/02



絶対に停まらない世界の廃墟駅(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編

デビッド・ロス 著

日経ナショナルジオグラフィック社

壮麗なボザール様式の駅舎が美しい「バラタシビリ駅」、建物の多くが内戦で破壊された「トリボリの機関車庫」…。産業の衰退や人口の減少により、廃墟となった世界 129 駅の写真を収録する。「世界の廃墟駅マップ」も掲載。

2023:5./ 231p

978-4-86313-562-8

¥2,310〔税込〕



毎日新聞 2023/09/02



PTSD の日本兵の家族の思いと願い

P T S D の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会 編

あけび書房

戦争から帰ってきた日本兵のなかには、PTSD になって家族に暴力をふるったり、アルコール依存症になったりする人たちがいた。「PTSD の日本兵の家族の思いと願い・証言集会」での日本兵家族たちの証言などをまとめる。

2023:6./ 117p

978-4-87154-231-9

¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2023/09/02



山崎洋仕事集～丘を越えて海を越えて～

山崎 ヴケリッチ 洋 著

西田書店

自主管理社会主義の研究のためベオグラードに在住し、内戦、制裁、空爆など激動する世界を見つめ発言してきた山崎洋。これまでの半世紀に日本で発表した論文や記事、随筆、講演原稿などから 51 編を選び、まとめる。

毎日新聞 2023/09/02

2023:5./ 603p
978-4-88866-678-7

¥4,950〔税込〕



ホメロス叙事詩の世界～『イリアス』と『オデュッセイア』～

川島 重成 著

ピナケス出版

紀元前 8 世紀後半頃、ホメロスによって完成されたとみなされているギリシア最古の叙事詩「イリアス」「オデュッセイア」の本格的解釈書。物語の面白さ、登場人物の魅力を明かす。書き下ろしを含む諸論考、講演録等を収録。

毎日新聞 2023/09/02

2023:5./ 395p
978-4-903505-22-0

¥9,680〔税込〕



世界文学をケアで読み解く

小川公代 著

朝日新聞出版

現代人が失いつつある<ケアの倫理>は世界の文学にあふれている。弱者と暴力と共生、SF 的想像力、新しい男性性、死者の魂を手がかりに、ケアの思想的な源を探り、世界の文学を読み直す。『小説トリッパー』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/09/02、朝日新聞 2023/09/16

2023:8./ 233p
978-4-02-251929-0

¥1,870〔税込〕



トランスジェンダー入門(集英社新書 1174)

周司 あきら／高井 ゆと里 著

集英社

トランスの人たちはどんな差別に苦しんでいるのか。「LGBT」と一括りにされることが多い「トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像を解説する。

毎日新聞 2023/09/02、読売新聞 2023/09/17

2023:7./ 229p
978-4-08-721274-7

¥1,056〔税込〕



キーウの遠い空～戦争の中のウクライナ人～

オリガ・ホメンコ 著

中央公論新社

あの日から私たちの生活は一変した。戦争の予感、避難生活の現実、引き裂かれた家族、ロシアの友人への思い…。キーウに生まれ育ち、日本で博士号を取得したウクライナ人の著者が、戦争下で考えたことを綴る。

毎日新聞 2023/09/02、日本経済新聞 2023/09/09、読売新聞 2023/09/24

2023:7./ 10p,173p
978-4-12-005675-8

¥1,980〔税込〕





ラディカル・オーラル・ヒストリー～オーストラリア先住民アボリジニの歴史実践～(岩波現代文庫 学術 380)

保 薊 実 著

岩波書店

先住民の多様な歴史群を、ポストコロニアル理論を経たいま、排除・包摂しない歴史の多元化が求められている。異文化の歴史を聴き「通文化化の歴史学」を大胆かつユーモラスに展開する。

毎日新聞 2023/09/09

2018:4./ 416p
978-4-00-600380-7

¥1,738〔税込〕



アンリアル

長 浦 京 著

講談社

両親の死の真相を探るため警察官になった 19 歳の沖野修也は、ある日、聞きなれない部署への出向を命じられた。そこは人知れず、諜報、防諜を行うスパイ組織であった…。『小説現代』掲載を改題し、加筆・修正。

毎日新聞 2023/09/09

2023:6./ 397p
978-4-06-531809-6

¥1,980〔税込〕



動物たちは何をしゃべっているのか？

山 極 寿一／鈴木 俊貴 著

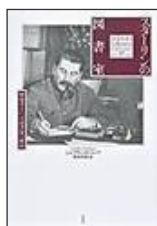
集英社

「タカが来た!」と警告するシジュウカラ。親を殺した密猟者を手話で語るゴリラ。動物たちは何を考え、どんなおしゃべりをしているのか。シジュウカラの文法を解明した動物言語学者と、ゴリラ学の権威が最新の知見を語り合う。

毎日新聞 2023/09/09

2023:8./ 221p
978-4-08-790115-3

¥1,870〔税込〕



スターリンの図書室～独裁者または読書家の横顔～

ジェフリー・ロバーツ 著

白水社

史上最も血にまみれた独裁者ヨシフ・スターリンの知的生活と生涯を描く。「本の虫」でもあった彼の膨大な蔵書と本への書き込みを精査し、思想と信条、革命と戦争、国政と外交に及ぼした影響、人格と感情の内奥に踏み込む。

毎日新聞 2023/09/09

2023:8./ 393p,66p
978-4-560-09359-7

¥4,950〔税込〕



射精責任

ガブリエル・スタンリー・ブレア 著

太田出版

中絶の 99%は望まない妊娠であり、その望まない妊娠のすべての原因が男性にある。女性に避妊を期待しすぎている、養子縁組は中絶の代わりにはならないなど 28 の提言により、望まない妊娠による中絶を根本から問い直す。

毎日新聞 2023/09/09

2023:7./ 213p
978-4-7783-1878-9

¥2,200〔税込〕





台形日誌

伏木庸平 著

晶文社

いつの間にか一緒に住み始めた山羊「オク」、懐かしくも異国の風が吹く料理たち...。どの料理にも似ていない楽しいごはんを出すお店「台形」の、暮らしの星々をつづった奇想で極上なエッセイ&レシピ集。

毎日新聞 2023/09/09

2023:5./ 245p
978-4-7949-7360-3

¥2,420〔税込〕



基礎から学べる現代アート

亀井博司 著

晶文社

アートの世界へようこそ! 難しそうだけど、知れば知るほどおもしろい現代アートを、現代アートサークルの2人の部員たちの会話形式で基礎から解説する。現代アートが見られるギャラリーや美術館も掲載。

毎日新聞 2023/09/09

2023:7./ 159p
978-4-7949-7370-2

¥1,980〔税込〕



これはわたしの物語～橙書店の本棚から～

田尻久子 著

西日本新聞社

書評、10代の頃の読書、記憶の本棚、大先輩の言葉、読書日記...。本屋店主の日々の営みから立ち上がる体験的書評エッセイ集。『西日本新聞』『ユリイカ』ほか掲載に、書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2023/09/09

2023:7./ 233p,4p
978-4-8167-1008-7

¥1,925〔税込〕



芸能の力～言霊の芸能史～

笠井 賢一 著

藤原書店

日本の芸能の力とは何か。著者が劇作家、演出家、能楽プロデューサーとして、伝統芸能と現代演劇を繋ぐ実践の中で掘り下げてきた、“いのちの根源にあるもの”としての芸能を描く。『高知新聞』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/09/09

2023:7./ 360p
978-4-86578-391-9

¥3,300〔税込〕



お日さまおそい みんなもおそい

金原瑞人 編

フィリップ・C・ステッド 著

ぶねうま舎

「お日さま、おそいなあ」夜明け前、なかなかお日さまがでてこないの心配になったラバとメウシとポニーは、世界のはてまで、お日さまを起こしに行くことにしますが...

毎日新聞 2023/09/09

2023:6./ 1冊(ページ付なし)

978-4-910154-45-9

¥1,980〔税込〕





ニジンスキー～踊る神と呼ばれた男～

鈴木 晶 著

みすず書房

ニジンスキーから男性ダンサーの時代が始まった。百年前、ダンスに革命を起こしながら闇の中へと沈んだニジンスキー。その数奇な生涯と比類なき芸術を、貴重な資料と写真でたどる。バレエ研究の第一人者によるライフワーク。

毎日新聞 2023/09/09、読売新聞 2023/09/24

2023:7./ 432p

978-4-622-09621-4

¥5,720〔税込〕



不器用で

ニシダ 著

KADOKAWA

いじめに加担した中学生、シラスを選別する高校生、虫歯を治さない会社員、12歳年下の恋人がいる准教授...。お笑いコンビ「ラランド」ニシダが描く、器用になれない5人の夏の物語。『小説野性時代』など掲載を加筆修正。

毎日新聞 2023/09/09、日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 203p

978-4-04-113113-8

¥1,760〔税込〕



新古事記～an impossible story～

村田 喜代子 著

講談社

太平洋戦争の最中、錚々たる科学者たちが続々と集結。秘密裏に進む原爆開発、施設内の出産ラッシュ、何も知らず家事と子育てに明け暮れる学者の妻たちの平穏な日々...。日系三世の数奇な物語。『群像』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/09/09、日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 349p

978-4-06-532683-1

¥2,420〔税込〕



カイエ・ソバージュ～人類最古の哲学|熊から王へ|愛と経済のロゴス|神の発明|対称性人類学～ 完全版(講談社選書メチエ le livre)

中沢 新一 著

講談社

21世紀の「第三次形而上学革命」を迎えるにあたり、旧石器人類の思考、国家の誕生、貨幣の発生、神の創造と一神教の成立まで、「超越的なもの」について、人類が考え得た全領域を踏破することをめざした講義録。

毎日新聞 2023/09/09、毎日新聞 2023/09/09

2023:7./ 836p

978-4-06-532389-2

¥7,700〔税込〕



神遊～春田のりこ句集～(はるもにあ叢書 6)

春田のりこ 著

ふらんす堂

手で洗ふ小さなものや獺祭 猫柳母の夕餉の米洗ふ 石榴割る外は歩けぬほどの雨
山踏んで水にじみ出す啄木忌 天心に力なき月松過ぎぬ 2000～2019年の作品を収めた第1句集。

毎日新聞 2023/09/12

2023:6./ 164p

978-4-7814-1545-1

¥3,080〔税込〕





全山落葉～仲寒蟬句集～

仲寒蟬 著
ふらんす堂

コロケのにほひの市場夜の蟬 どこにでもゐる小林と野焼見に たんぼぼをたどればローマまで行ける 炎昼をみなマスクしてみな無言 「巨石文明」以後、10年間の俳句約4万句の中から380句を選んだ第3句集。

毎日新聞 2023/09/12

2023:7./ 204p
978-4-7814-1566-6

¥3,080〔税込〕



ウォーターリリー～歌集～(かりん叢書 第420篇)

川野里子 著
短歌研究社

ウォーターリリーここに生まれてウォーターリリーここがどこだかまだわからない過去を、未来を、今を、短歌は不安な世界をどう聞き取るのか。あらたな方法を携え挑戦する第8歌集。

毎日新聞 2023/09/12

2023:8./ 193p
978-4-86272-742-8

¥2,420〔税込〕



母の壁～子育てを追いつめる重荷の正体～

前田 正子、安藤 道人 著
岩波書店

保活、ワンオペ育児、そして仕事との両立-。ある自治体で認可保育園に入所申し込みをした全世帯への調査から見えてきた、母を追い詰める「壁」の存在。日本の母はなぜ生きづらいのか、母親たちの声を引用しながら描き出す。

毎日新聞 2023/09/16

2023:6./ 220p
978-4-00-061599-0

¥1,980〔税込〕



そんなときなんていう?～ゆかいなれいぎさほうのほん～

セシル・ジョスリン 著
岩波書店

紳士から赤ちゃんぞうを紹介されたら、「はじめまして」と言おう。恐ろしい龍を退治してくれた勇敢な騎士には、「どうも、ありがとう」と言おう。「そんなときなんていう?」がわかる、ゆかいな礼儀作法の本。

毎日新聞 2023/09/16

2016:8./ 48p
978-4-00-111256-6

¥1,100〔税込〕



黄金比の緑

石田 夏穂 著
集英社

顔の縦と横の黄金比を満たす者を選ぶと「入社3年以内の退職率が上がる」。不当な辞令に憤る人事部採用チームの小野は、自身が辿り着いた評価軸をもとに、会社への秘かな復讐を始めて…。『すばる』掲載に加筆・修正。

毎日新聞 2023/09/16

2023:6./ 109p
978-4-08-771831-7

¥1,650〔税込〕





わたしたちに翼はいらない

寺地 はるな 著

新潮社

シングルマザー、専業主婦、独身の会社員。同じ地方都市に暮らす 3 人は、いじめ、モラハラ夫、母親の支配に悩まされ、やがて…。「生きる」ために必要な、救済と再生をもたらすまでのサスペンス。『小説新潮』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/09/16

2023:8./ 229p
978-4-10-353192-0

¥1,815〔税込〕



可燃物

米澤 穂信 著

文藝春秋

連続放火事件が発生し、県警葛班が捜査に当てられるが、容疑者を絞り込めないうちに犯行がびたりと止まってしまう。捜査は行き詰まるかに見えたが…。葛警部の鮮やかな推理が光る全 5 編。『オール讀物』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/09/16

2023:7./ 275p
978-4-16-391726-9

¥1,870〔税込〕



武藤章〜昭和陸軍最後の戦略家〜(文春新書 1417)

川田 稔 著

文藝春秋

陸軍軍務局長として、陸軍の政戦略を握っていた武藤章は、一貫して対米戦争を回避したいと考えていた。なぜ負けると分かっているアメリカと戦争を始めたのか。国家の運命を賭けた苦闘を描いた本格評伝。

毎日新聞 2023/09/16

2023:7./ 286p
978-4-16-661417-2

¥1,210〔税込〕



ルネサンス経験の条件(文春学藝ライブラリー)

岡崎 乾二郎 著

文藝春秋

フィレンツェのサンタ・マリア大聖堂を創造したブルネレスキ、ブランカッチ礼拝堂壁画を描いたマサッチオ…。ルネサンスの天才たちの作品の精緻な分析を通じて、芸術の使命と可能性を明らかにする。

毎日新聞 2023/09/16

2014:2./ 463p
978-4-16-813013-7

¥2,145〔税込〕



悪口ってなんだろう(ちくまプリマー新書 432)

和泉 悠 著

筑摩書房

悪口とは一体なにか。本当はどのようなもので、何と混同されるのか…。悪口や攻撃的なことばを哲学や言語学といった学問分野の知恵を使って検討し、悪口という現象を解き明かすとともに、悪口との付き合い方も示す。

毎日新聞 2023/09/16

2023:8./ 147p,11p
978-4-480-68459-2

¥880〔税込〕





ハルムスの世界～海外小説永遠の本棚～(白水Uブックス 249)

ダニイル・ハルムス 著

白水社

「ロシア文学」のイメージを覆す、軽さ、ユーモア、ナンセンス…。ロシア・アヴァンギャルドの終焉に燦然と輝くハルムスの超短篇集。生前未刊行の短篇集「出来事」と、訳者がセレクトした短篇 38 篇に新訳 10 篇を加えて復刊。

毎日新聞 2023/09/16

2023:8./ 288p
978-4-560-07249-3

¥1,870〔税込〕



応答、しつづけよ。

ティム・インゴルド 著

亜紀書房

現代の人類学を牽引する思想家が、随筆、批評、寓話、詩など、さまざまな形式を駆使して、アート、建築、デザインを論じる。全 27 篇のエッセイを収録。モノとの「応答」を通じて物事を知ることを探るプロジェクトの成果。

毎日新聞 2023/09/16

2023:5./ 415p
978-4-7505-1764-3

¥3,080〔税込〕



外務省は「伏魔殿」か～反骨の外交官人生と憂国覚書～

飯村 豊 著

芙蓉書房出版

2001 年、国会で田中眞紀子外相から「伏魔殿」と名指しされ、大臣官房長を更迭された著者が、ポピュリズムの嵐に巻き込まれた騒動の真相を明らかにする。また 40 年間の外交官生活を振り返り、外交のあるべき姿を熱く語る。

毎日新聞 2023/09/16

2023:7./ 322p
978-4-8295-0864-0

¥2,530〔税込〕



ブキの物語

シュザンヌ・コメール＝シルヴァン／マダム・ショント 著

作品社

あまりに強欲で残酷、でも間抜けでだまされてばかりいる力の強き者と、悪知恵をたくみに使って狡猾に生きのびる、小さき者-。カリブ海の島国ハイチと仏領グアドループで採集された民話集 2 冊を収録。詳細な訳者あとがき付き。

毎日新聞 2023/09/16

2023:8./ 299p
978-4-86182-986-4

¥2,970〔税込〕



上昇～アメリカは再び<団結>できるのか～

ロバート・D・パットナム／シェイリン・ロムニー・ギャレット 著

創元社

19 世紀末から現在まで、個人主義と共同体主義の間で振り子のように揺れていたアメリカ社会。多領域に共通して見られる、100 年にわたる大きな変化のカーブを、独創的なデータ分析をもとに検証し、未来への展望を探索する。

毎日新聞 2023/09/16、日本経済新聞 2023/09/23

2023:7./ 461p
978-4-422-36014-0

¥4,950〔税込〕





首都防衛(講談社現代新書 2717)

宮地 美陽子 著

講談社

首都直下地震、富士山噴火、南海トラフ巨大地震、弾道ミサイル、気象災害...命を守るために、何をやるべきか。最新データや数々の専門家の知見から「最悪の被害想定」を明らかにする。

毎日新聞 2023/09/23

2023:8./ 222p
978-4-06-533085-2

¥1,012〔税込〕



沈黙の春 改版(新潮文庫)

レイチェル・カーソン 著

新潮社

自然を忘れた現代人に魂のふるさとを思い起こさせる美しい声と、自然を破壊し人体を蝕む化学薬品の浸透、循環、蓄積を追究する冷徹な眼、そして、いま私たちは何をなすべきかを訴えるたくましい実行力。三つを備えた、自然保護と化学物質公害追及の先駆的な本がこれだ。

毎日新聞 2023/09/23

2004:6./ 394p
978-4-10-207401-5

¥825〔税込〕



平治の乱の謎を解く～頼朝が暴いた「完全犯罪」～(文春新書 1405)

桃崎 有一郎 著

文藝春秋

日本史を転換させた謎だらけの大事件「平治の乱」。誰が首謀者で、誰が隠蔽したのか? 「事件」はいかに「解決」するか? 気鋭の学者が 860 年の封印を破り、歴史研究の醍醐味を伝える。

毎日新聞 2023/09/23

2023:7./ 351p
978-4-16-661405-9

¥1,265〔税込〕



男も女もみんなフェミニストでなきゃ

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ 著

河出書房新社

アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ大陸を繋ぐ英語圏の作家チママンダ・ンゴズィ・アディーチェが、自分の体験談などをもとに、フェミニズムについて語る。2012 年 12 月に行われた TED トークを書籍化。

毎日新聞 2023/09/23

2017:4./ 100p
978-4-309-20727-8

¥1,320〔税込〕



星を見る人～日本語、どん底からの反転～

恩田 侑布子 著

春秋社

ことばの手ざわり、肌ざわりに誘われ、情感の深みへ。芭蕉、井筒俊彦、草間彌生...。絶滅危惧種となった風合いある表現に、ゆらぎ、渦巻き、なりかわる、こころ・からだ・いのち。俳人による五感を震わせる評論を収録。

毎日新聞 2023/09/23

2023:9./ 3p,249p
978-4-393-44424-5

¥2,640〔税込〕





アイヒマンと日本人(祥伝社新書 684)

山崎 雅弘 著

祥伝社

ナチ党政権下のドイツで、国策として遂行されたユダヤ人の大量虐殺を、ナチス親衛隊の中間管理職として差配したアイヒマン。その生涯 56 年の足跡をたどり、従順さが内包する危険性について警鐘を鳴らす。

毎日新聞 2023/09/23

2023:8./ 240p

978-4-396-11684-2

¥1,045〔税込〕



現代台湾クロニクル～2014-2023～

近藤 伸二 著

白水社

国際社会のなかで、なぜ台湾の存在感が高まっているのか？ ペテランの台湾ウォッチャーが、政権運営、対中関係、外交、内政、経済、社会の 6 つのテーマでやさしく解説し、その背景を探る。機関紙『台湾協会報』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/09/23

2023:9./ 242p,3p

978-4-560-09373-3

¥2,750〔税込〕



6

梨 著

玄光社

恐怖は読み終えてもずっと続く-。とあるデパートの屋上遊園地、峠道に存在した石塔、23 分 45 秒の動画記録、種苗育成のためのガイドライン、幽霊の死体、エレベーターに響く声…。新進気鋭のホラー作家・梨が描く全 6 編。

毎日新聞 2023/09/23

2023:6./ 239p

978-4-7683-1783-9

¥1,760〔税込〕



「経済成長」の起源～豊かな国、停滞する国、貧しい国～

マーク・コヤマ／ジャレド・ルービン 著

草思社

世界はどのようにして豊かになったのか？ 持続的な経済成長に成功した経済圏には前提条件があった！ その条件を、地理、政治、文化、宗教、人口動態、植民地などの要因をもとに、最新理論を引きつつ検証する。

毎日新聞 2023/09/23

2023:8./ 441p

978-4-7942-2669-3

¥3,740〔税込〕



エレメンタル～批評文集～

管 啓次郎 著

左右社

語学者ベケット、レヴィ=ストロースと夢、否定の騎士ペソア、グリッサンの渡り…。時代に先駆けて世界文学を論じ、文学と翻訳の可能性と自由とを描いてきた詩人・比較文学者・翻訳家、管啓次郎の批評文集成。

毎日新聞 2023/09/23

2023:6./ 398p

978-4-86528-372-3

¥3,300〔税込〕





現代陶芸論

外館和子 著

阿部出版

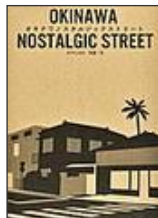
現代陶芸の基準と定義を明確にし、陶磁史上のルーツと照らし合わせつつ、現代陶芸の外観的特徴を「具象的陶芸」「用途の陶芸」など4つに分類。それぞれの代表作品を紹介しながら、多様化する現代陶芸の諸作品を整理する。

毎日新聞 2023/09/23

2023:6./ 283p

978-4-87242-497-3

¥2,970〔税込〕



オキナワノスタルジックストリート

ぎすじみち 著

ボーダーインク

路地裏、建物、看板、市場、マチヤグラー、ヴィンテージな品…。通りで出会ったなつかしい景色、なつかしい記憶。1990年代から2023年にかけて沖縄各地で撮影した味わい深い写真を収録する。

毎日新聞 2023/09/23

2023:7./ 159p

978-4-89982-450-3

¥2,640〔税込〕



フェルナンド・ペソア伝～異名者たちの迷路～

澤田 直 著

集英社

70もの人格を作り作品を書き分けた、ポルトガルの国民的詩人フェルナンド・ペソア。死後、公刊されたものの数十倍もの作品が書かれていたことが判明し、現在も刊行され続ける。この巨人の生涯と言葉を丹念にたどった評伝。

毎日新聞 2023/09/23、日本経済新聞 2023/09/30

2023:8./ 491p

978-4-08-771823-2

¥3,080〔税込〕



かたばみ

木内 昇 著

KADOKAWA

女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、小金井で教師をしていた梯子は、よんどころない事情で家族を持つことに…。血の繋がらない親子を描く、笑いと涙のホームドラマ。『北海道新聞』等連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/09/30

2023:8./ 556p

978-4-04-112253-2

¥2,585〔税込〕



Z世代のアメリカ(NHK 出版新書 700)

三牧 聖子 著

N H K 出版

続ぶ超大国・アメリカで育ったZ世代は、今どのように政治や社会と対峙しているのか？ 気鋭の国際政治学者が、Z世代に生まれつつある新しい認識や動きに着目しながら、アメリカ社会の今と未来を描き出す。

毎日新聞 2023/09/30

2023:7./ 235p

978-4-14-088700-4

¥1,023〔税込〕





はらぺこ銀河<上>(少年チャンピオン・コミックス)

魚乃目三太 著

秋田書店

ちょっと近未来。難破し宇宙を漂う、地球と火星を繋ぐ宇宙貨物船。唯一の乗組員であるオジさんとサポートロボットのノア。全然来ない救助を待ちつつ、ラーメン、カレー、チャーハン、ハンバーガーと腹ペコグルメをレツクッキング!!

毎日新聞 2023/09/30

2023:3./ 208p

978-4-253-22996-8

¥792〔税込〕



はらぺこ銀河<下>(少年チャンピオン・コミックス)

魚乃目三太 著

秋田書店

そうめん、焼き芋、エビフライ...!!無重力でも無限に広がる宇宙グルメのレパートリー!!宇宙米も収穫できて、胃袋よろこびビッグバン!!一方、地球では、ついにオジさんたちの動画に気付いた人間たちが!!

毎日新聞 2023/09/30

2023:6./ 224p

978-4-253-22997-5

¥792〔税込〕



無一文「人力」世界一周の旅

岩崎 圭一 著

幻冬舎

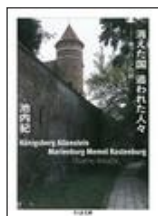
標高 5000m のヒマラヤ山脈をママチャリで越え、インド最南端からエベレスト頂上まで人力のみで到達し、手漕ぎボートでガンジス河を海まで下る...。「無一文」で「野宿」をしながら世界一周を目指す無謀な自転車旅を綴る。

毎日新聞 2023/09/30

2023:6./ 407p

978-4-344-04115-8

¥1,980〔税込〕



消えた国追われた人々～東プロシアの旅～(ちくま文庫 い15-5)

池内 紀 著

筑摩書房

コペルニクスが星を見あげ、カントが「純粹理性批判」を書いた国・東プロシアはいつ成立し、どのようにして消えたのか。今はなき国の面影と記憶を軽やかに、丁寧な追いかけた珠玉の紀行文。

毎日新聞 2023/09/30

2019:12./ 309p

978-4-480-43634-4

¥1,100〔税込〕



移民船から世界をみる～航路体験をめぐる日本近代史～(サピエンティア 69)

根川 幸男 著

法政大学出版局

近代日本の一断面として、日本の移民船の歴史を辿る。明治維新时期に行われた最初の移民船航海や帝国最初の植民地台湾への航路、20世紀初頭から高度成長期の終末期まで続いた南米移民船を例に、移植民の航路体験に則して描く。

毎日新聞 2023/09/30

2023:8./ 16p,290p,5p

978-4-588-60369-3

¥4,180〔税込〕





あわいに開かれて

小野 正嗣 著

毎日新聞出版

記憶よ、きみはよく道の半ばで姿をくられますが、ときに思いもよらぬものを連れてくる。現実と虚構のはざまに産み落とされた詩情あふれる掌編小説集。『毎日新聞』連載を加筆・修正し書籍化。

毎日新聞 2023/09/30

2023:7./ 233p

978-4-620-10867-4

¥2,420〔税込〕



ウクライナ、地下壕から届いた俳句〜The Wings of a Butterfly〜

ウラジスラバ・シモノバ 著

集英社インターナショナル

ロシアによるウクライナ侵攻後も、ウクライナに残り俳句を詠み続けているウラジスラバ・シモノバ。彼女がこれまでに詠んだ俳句を収めた句集。駐日ウクライナ特命全権大使×黛まどかの対談も収録。

毎日新聞 2023/09/30

2023:8./ 102p

978-4-7976-7434-7

¥2,200〔税込〕



枯木ワンダーランド〜枯死木がつなぐ虫・菌・動物と森林生態系〜

深澤遊 著

築地書館

枯木の表面や幹の中では、生き物たちの活気あふれる営みが繰り広げられている。枯木を利用する生き物たちの暮らしから、倒木更新と菌類の関係、枯木の存在が炭素貯留に役立つ仕組みまで、その知られざる自然誌を解き明かす。

毎日新聞 2023/09/30

2023:6./ 343p 図版 16p

978-4-8067-1653-2

¥2,640〔税込〕



明治大正昭和化け込み婦人記者奮闘記

平山 亜佐子 著

左右社

日本の新聞黎明期。女だからと侮られ回ってくるのは雑用ばかり。そんな婦人記者たちは己の体一つで変装潜入ルポ(化け込み記事)へ向かい。明治末期～昭和初期の婦人記者とそれぞれの企画を紹介し彼女らの本音と葛藤に迫る。

毎日新聞 2023/09/30

2023:6./ 287p

978-4-86528-373-0

¥2,200〔税込〕



スポーツ 3.0

平尾剛 著

ミシマ社

勝利至上主義、迷走する体育・部活、コロナ下の五輪強行、甲子園の歪さ、テクノロジーの浸透…。スポーツを「する」「観る」「教える」をアップデートするために、想いを綴る。『みんなのミシマガジン』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/09/30

2023:9./ 214p

978-4-909394-92-7

¥2,200〔税込〕

